

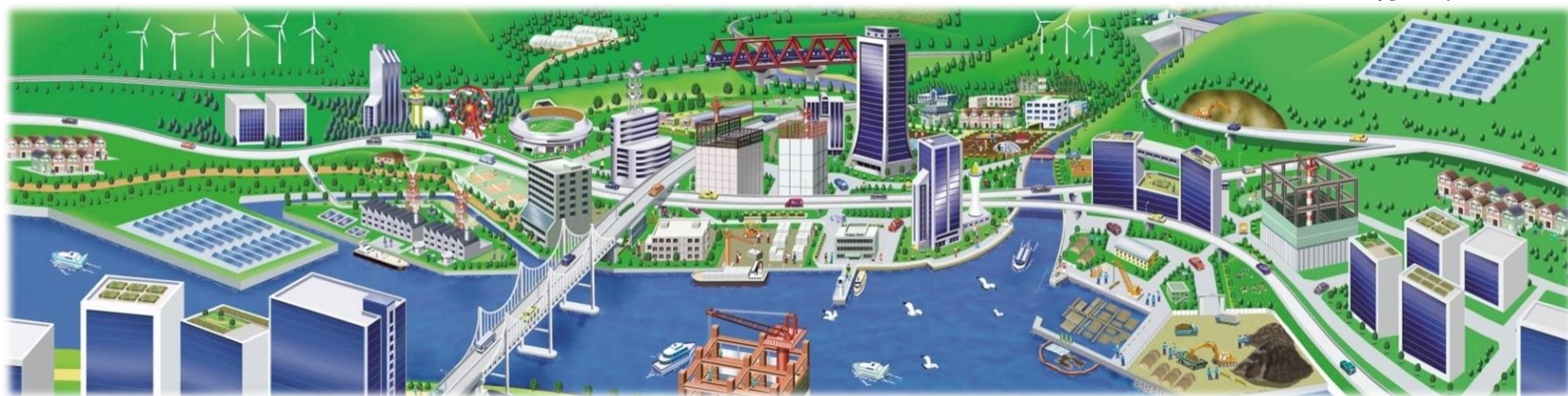
コンドールテック株式会社

決算説明資料

2020年3月期第3四半期

2020年2月6日

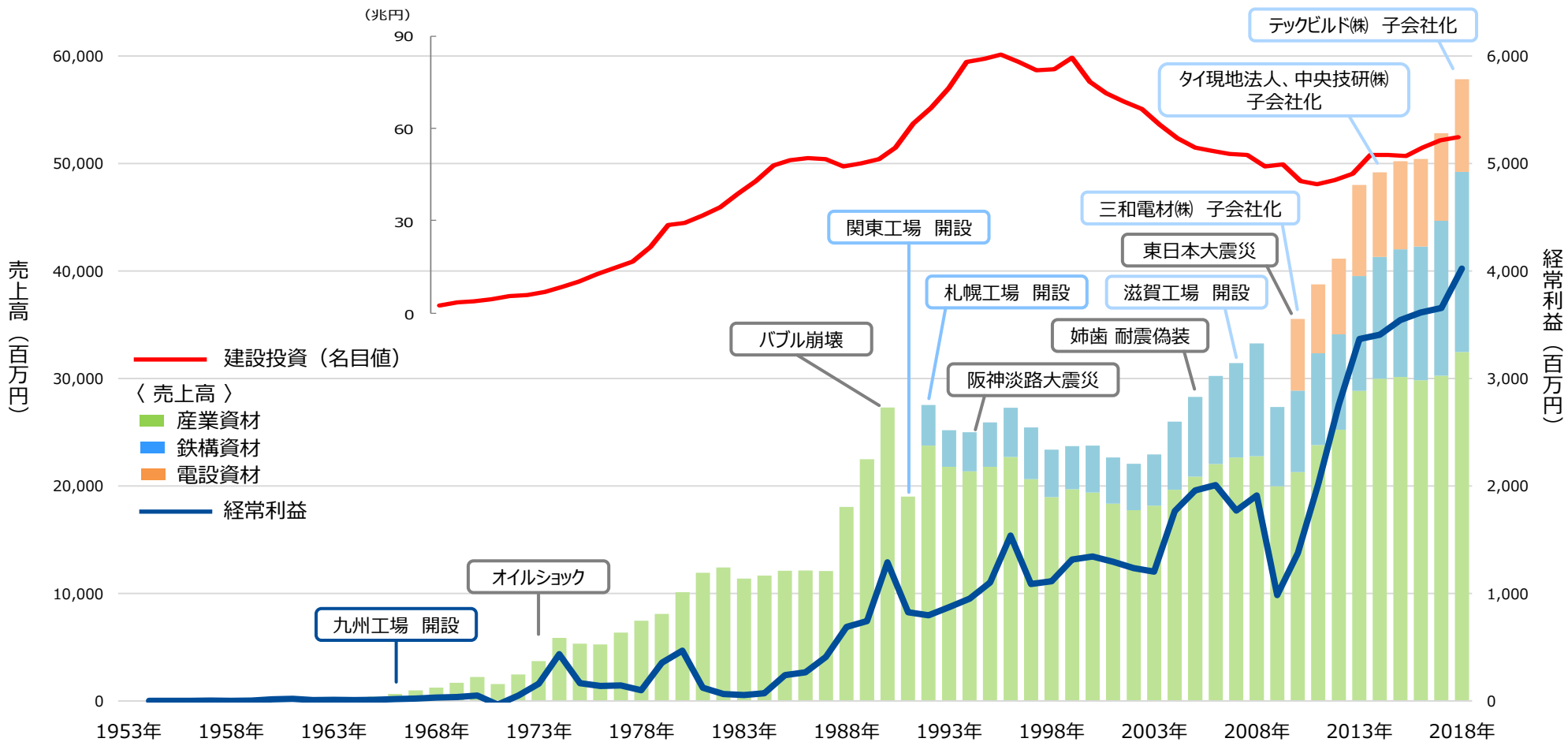
証券コード：7438



1. 当社の概要	P. 3
2. 主要製・商品	P. 11
3. 2020年3月期第3四半期の実績と分析	P. 18
4. 2020年3月期第3四半期の各セグメントの実績と分析	P. 24
5. ESG課題への対応	P. 32
6. 成長戦略	P. 38
7. 株主還元	P. 46
8. 業績ハイライト	P. 49

1. 当社の概要

1953年設立以来、時代の変化・ニーズに合わせ、様々な業界に製商品を提供し続けた結果、
売上高、利益とも、**8期連続過去最高を更新しております。**



※1986年度から1991年度の鉄構資材の売上高は未詳のため、産業資材に集約。

創業から東京進出、「海から陸へシフト」、
九州工場開設

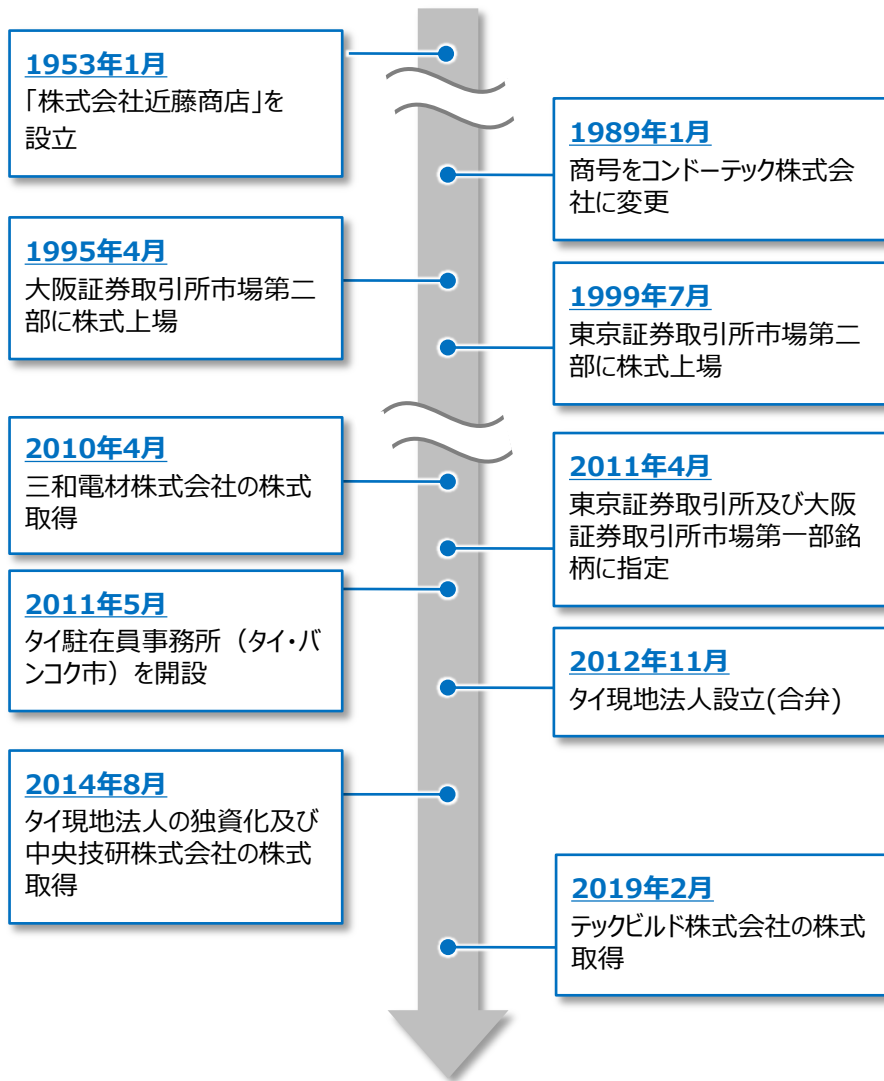
全国展開、本社ビルの完成
から次のステージへ

新生コンドーテック
株式上場へ向け飛躍の
ための基礎づくり

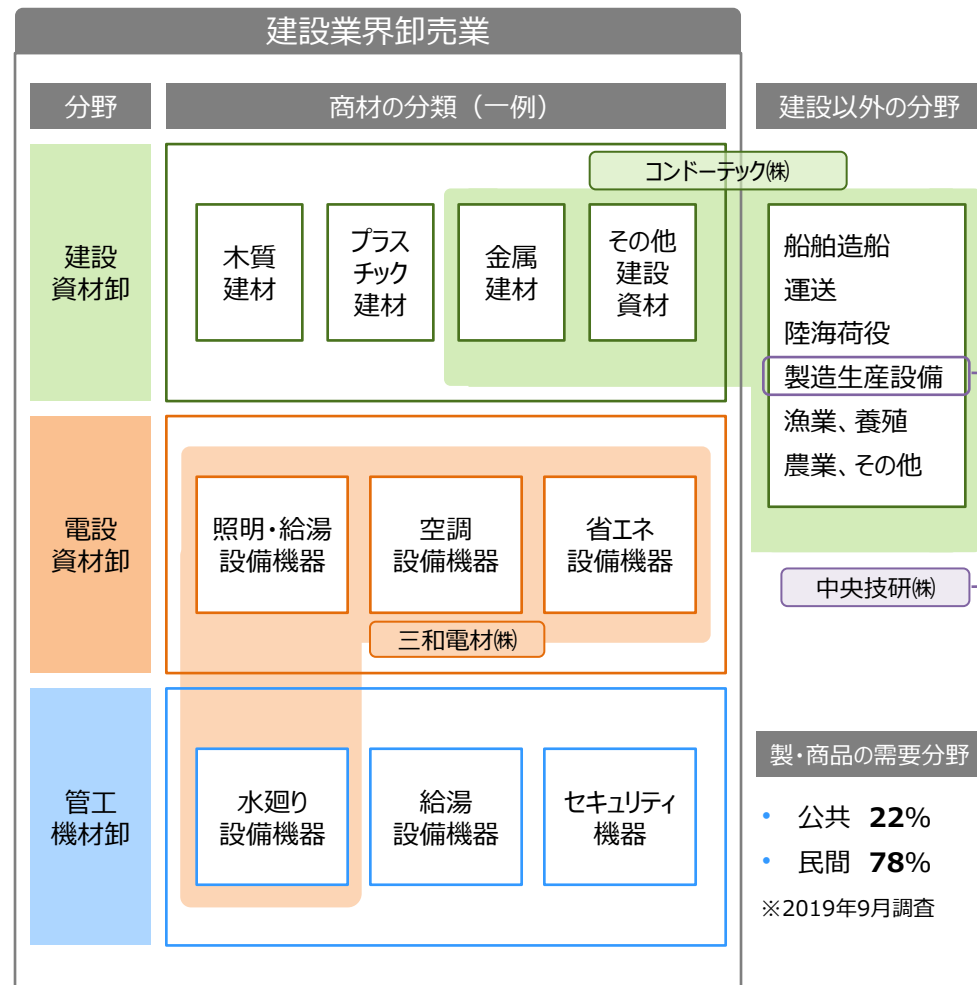
事業拡大、M&Aで
新たなステージへ

商号	コンドーテック株式会社 (KONDOTEC INC.)
グループ会社	三和電材株式会社、KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) CO., LTD.、中央技研株式会社、テックビルド株式会社
設立	1953年1月
代表取締役社長	近藤 勝彦
本社	本社：大阪市西区境川二丁目2番90号 東京本社：東京都江東区南砂一丁目9番3号
従業員	670名（単体）、906名（連結）（2019年3月末現在）
資本金	26億6,648万5千円
上場区分	東証1部
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産業資材を取り扱う金物小売業、卸売業、製造業を中心に、産業資材を製造・仕入・販売・レンタル ■ 鉄骨加工業者向けに、鉄構資材を製造・仕入・販売 ■ 電気工事業者や家電小売店向けに、電設資材を仕入・販売
主要取扱品目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 製品 ターンバックル、ブレース、足場吊りチェーン、ねじ製品、アンカーボルト、建設資材、機械装置他 ■ 商品 金物類、チェーン、ワイヤロープ、鋸螺、建設資材、照明器具、分電盤、空調機器、エコ商品他

会社設立沿革

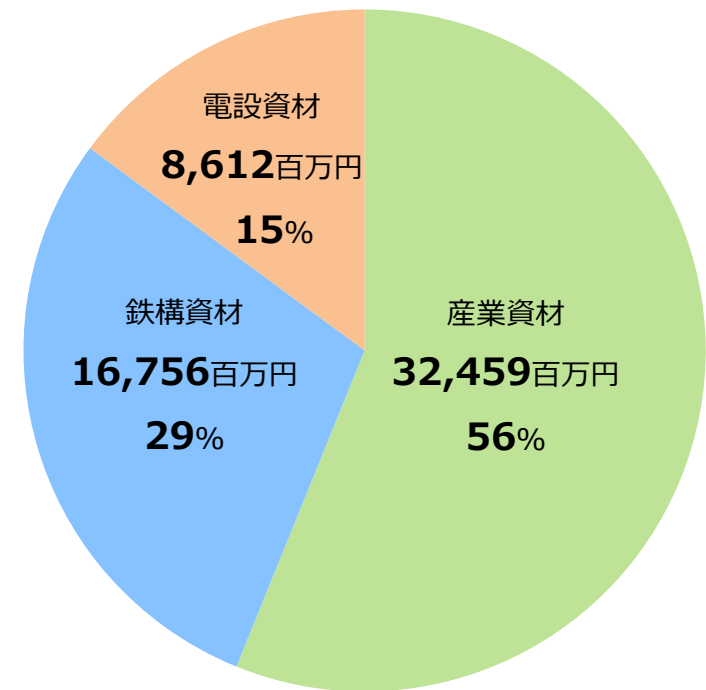


事業ドメイン

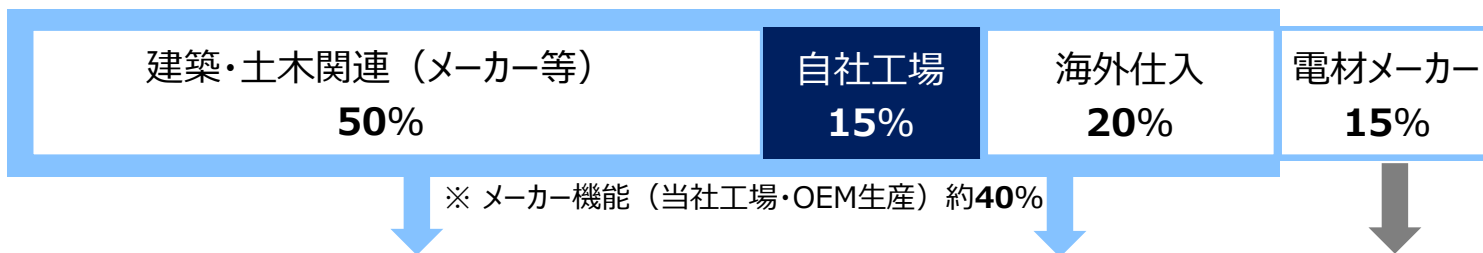


セグメント区分	主な販売先	主な製商品
産業資材	<ul style="list-style-type: none"> ■ 金物屋 ■ 問屋 ■ ホームセンター等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ターンバックル ■ シャックル ■ 足場吊りチェーン ■ フック、クリップ ■ 各種鉚螺（ねじ、釘） ■ コンテナバッグ ■ ブルーシート ■ 機械装置 他
鉄構資材	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鉄骨加工業者 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ターンバックルブレース ■ アンカーボルト ■ ハイテンションボルト ■ 自立コンピース ■ コンデッキバー ■ セラミックスタブ 他
電設資材	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電気工事業者 ■ 家電小売店 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 空調機器（エアコン、換気扇、ダクトファン） ■ 照明器具（LED照明、住宅照明器具他） ■ エコ商品（太陽光発電、エコキュート） ■ 電線、分電盤、制御盤、各種センサー他

セグメント別売上高（2019年3月期）



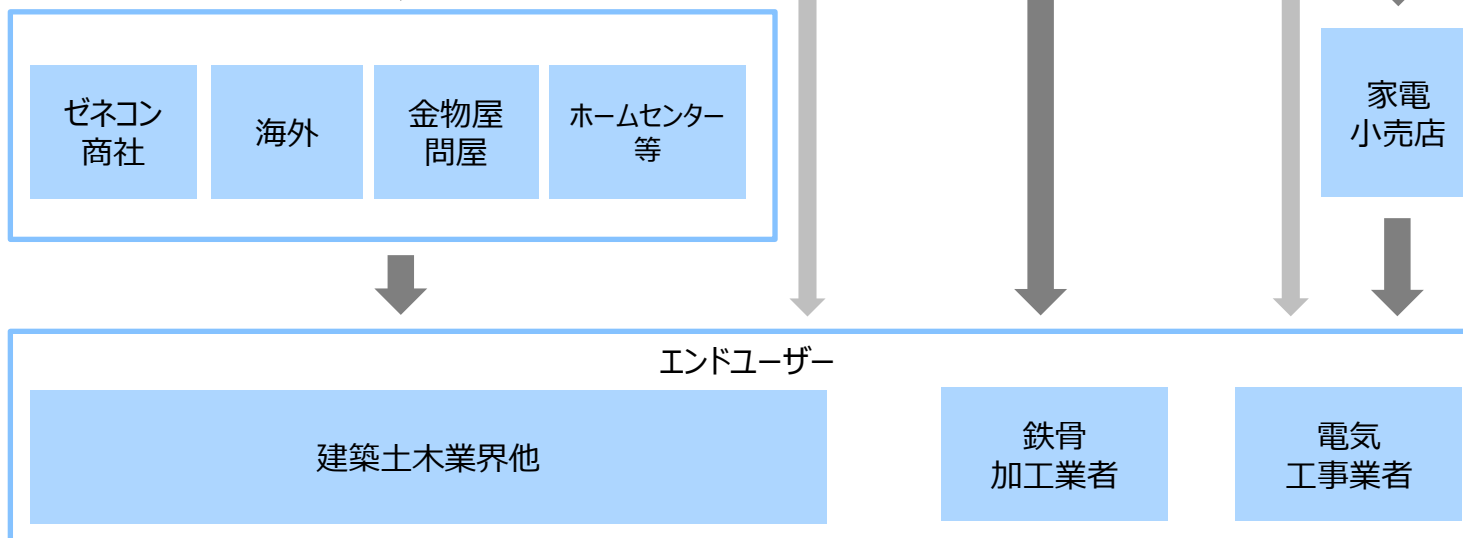
仕入先



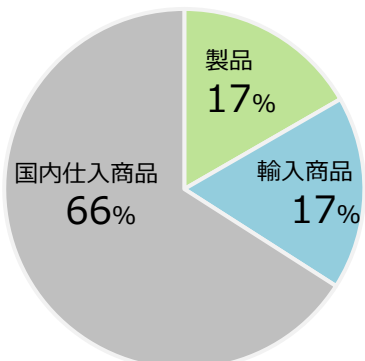
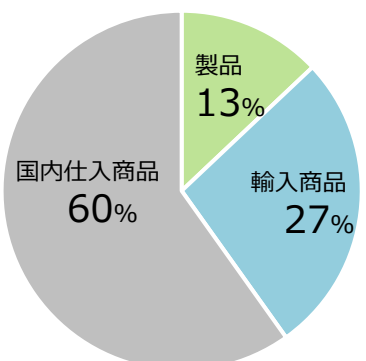
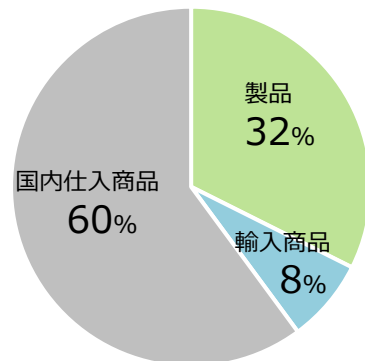
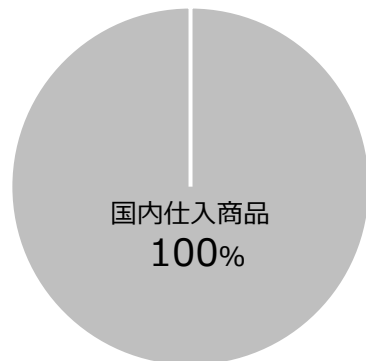
セグメントおよび売上構成比（2019年3月期）



販売先



(2019年3月末時点)

売上高		連結	産業資材	鉄構資材	電設資材
		57,828百万円	32,459百万円	16,756百万円	8,612百万円
					
※ 円グラフには、タイ現地法人・中央技研(株)、テックビルド(株)は含めておりません。					
営業拠点数		82拠点	52拠点	17拠点	13拠点
アイテム数		約50,000点	約40,000点		約10,000点
販売先数		約24,700社	約15,000社	約5,000社	約4,700社
新規開拓	件数 (注)	2,653件	1,609件	692件	352件
	売上高 (注)	2,961百万円	1,164百万円	1,219百万円	577百万円

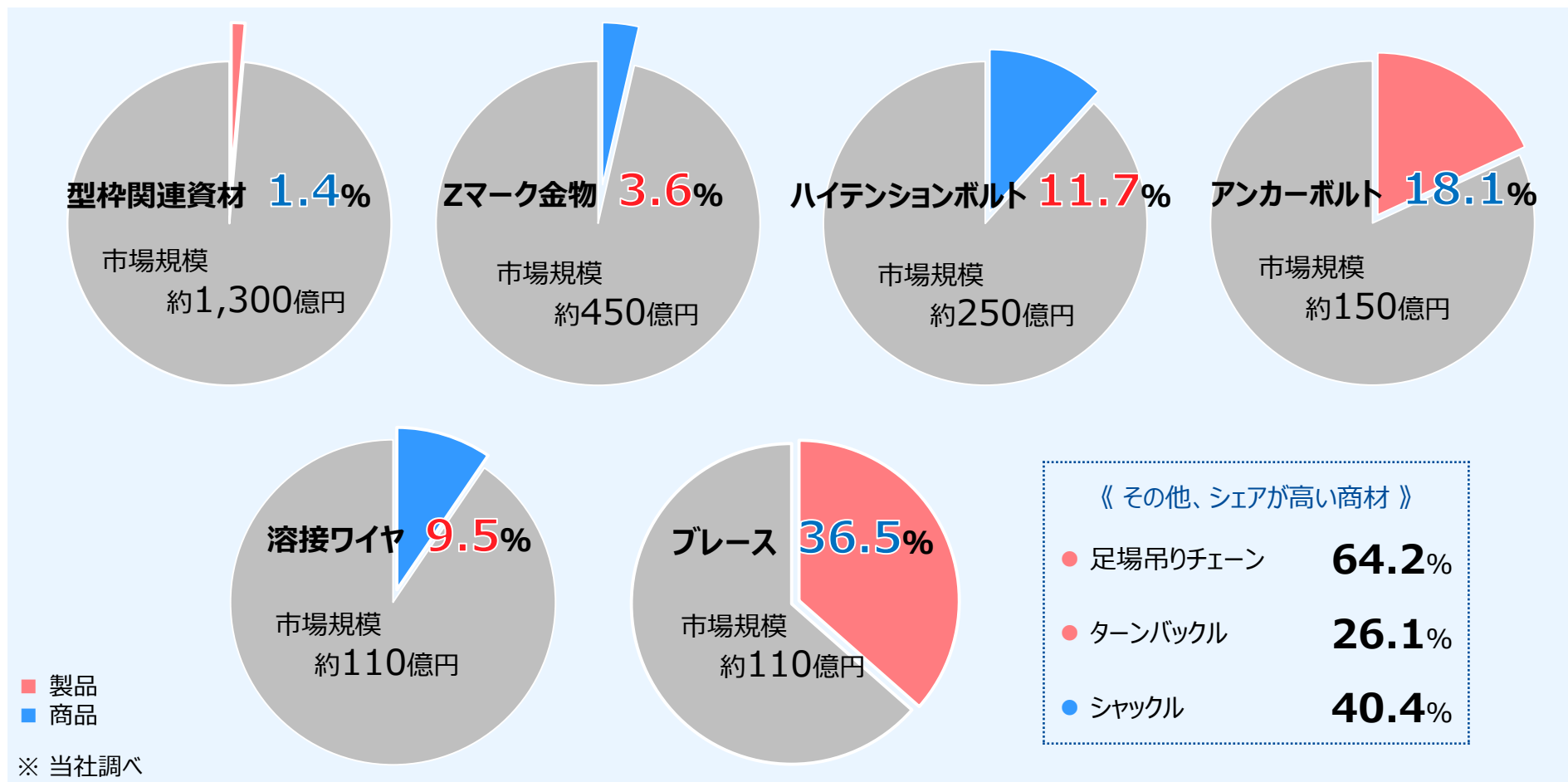
※ 販売先数および新規開拓には、タイ現地法人・中央技研(株)・テックビルド(株)は含めておりません。

(注) 当期および前期の合計。

主要商材の市場規模と当社シェア

(2019年3月時点)

- 下記に掲載している商材の他にも、ワイヤロープ、ネット・シート類、鋸螺なども含め、シェアが比較的高い商材から、開拓の余地がある商材まで幅広く取り扱っております。



2. 主要製・商品

取扱いアイテムは5万点。時代の変化・ニーズに合わせ、さまざまな業界に供給しています。



建築工事

建築工事は最も大きな販売フィールドのひとつ。建築用ターンバックルプレスに代表される鉄骨構造向けの資材、鉄筋コンクリート造に使用する丸セパレーターなどは自社工場生産する主力製品です。木造建築分野では、Zマーク、Xマークの認定を取得。あらゆる工事に使用される仮設足場部材の品ぞろえも豊富です。

- 吊り具
- ターンバックル
- 鉄骨部材
- 基礎用部材
- 型枠部材
- 建築金物

鉄道

鉄道関連の工事には一般の土木建築とは異なった特殊な条件が要求されることがあります。当社はJRをはじめ私鉄各社などへ特徴のある資器材の提案を行っております。

- ねじ
- 吊り具
- 河川・法面資材

土工事

土工事には、道路、港湾といったインフラ関連から、法面保護、河川改修など幅広い需要分野があります。昨今では自然災害も多く、緊急性を要する災害復旧工事のための資材が必要となるケースも増えています。当社は全拠点をストックヤードとしての機能も備えており、緊急時のデリバリーに対応しています。

- 緑化・街路資材
- 河川・法面資材
- 吊り具
- 現場用品
- ネット・シート類
- 港湾土木資材

ターンバックルブレース 使用例

- 筋交いの「ターンバックルブレース」を取り付けることで、建物が横から押される力に突っ張って変形を防ぎ、建物の倒壊を回避する役割があります。
- ショッピングセンターや工場、倉庫などの鉄骨建築や鉄骨プレハブ住宅などの耐震用筋交いとして使用されています。また、身近な場所では駅のホームの屋根で使用されています。

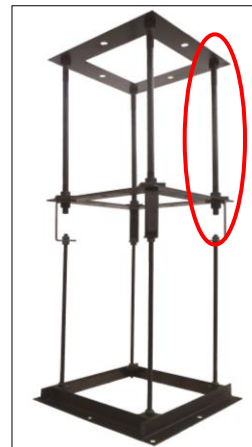


アンカーボルト 使用例

- アンカーボルトは土地に施工した基礎コンクリートと建物をつなぐための重要部材です。基礎コンクリートに取り付けられた建物が移動や転倒することを防ぐ役割を持っています。



施
工
後



アンカーボルト



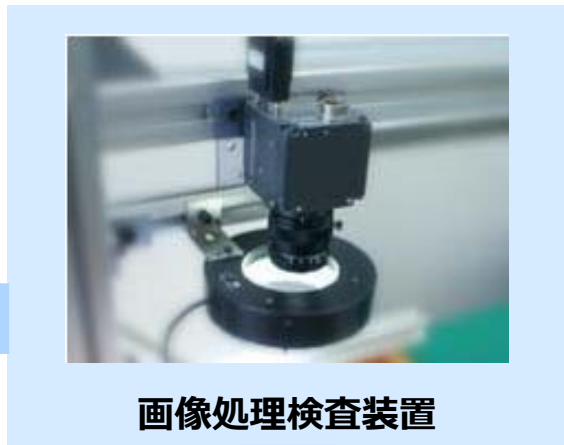
- コンテナバッグは、飼料、肥料、樹脂ペレット、産業廃棄物等の輸送・保管、がれき処理・除染作業や災害復旧作業での大型土のう袋など様々な場面で使用されています。



① 画像処理検査装置

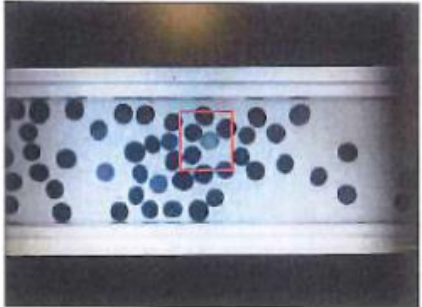
- 2019年1月、株式会社メカトロエンジニアリングより省力化、画像処理機器事業の事業を譲り受けました。
- 「この部品を自動で製作したい、検査したい」とお客様の声に応え、開発イメージから提案し、装置開発を行っております。

譲受事業の業績		(2018年5月期)
売上高	40	百万円
営業利益	4	百万円
経常利益	5	百万円



色識別検査

高速に流れる良品の中に混入した異色を選別する。



文字認識検査

画像形状により位置を高速に算出、文字の特徴を捉え認識する。



外観検査

外形寸法や汚れ・キズの有無の検査を行い、良品・不良品を選別する。



② 足場施工

- 2019年2月に子会社化したテックビルド株式会社は、土木建築用足場等の架組工事及びレンタル事業を行っております。
- テックビルド株式会社が設置、解体工事を行う足場は、住宅、倉庫等の新築・改修工事で使用されています。

橋梁工事



工場新築工事



テックビルド株式会社 直近の業績

2019年3月期

売上高	2,620百万円
営業利益	△37百万円
経常利益	△51百万円
E B I T D A	190百万円

3. 2020年3月期第3四半期の実績と分析

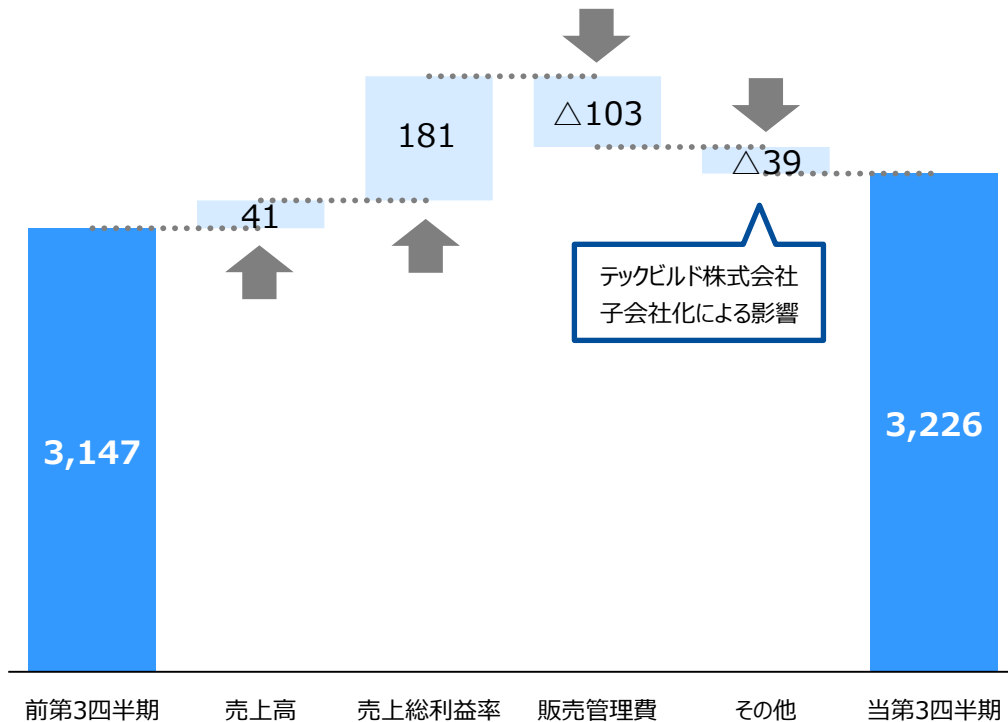
2020年3月期第3四半期 連結業績

(単位：百万円)

	前第3四半期 (2019年3月期)	当第3四半期 (2020年3月期)	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	43,629	45,952	+2,323	+5.3%
売上総利益	9,530	10,342	+811	+8.5%
販売管理費	6,382	7,115	+732	+11.5%
営業利益	3,147	3,226	+79	+2.5%
経常利益	3,235	3,295	+59	+1.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,192	2,213	+21	+1.0%

営業利益 増減分析

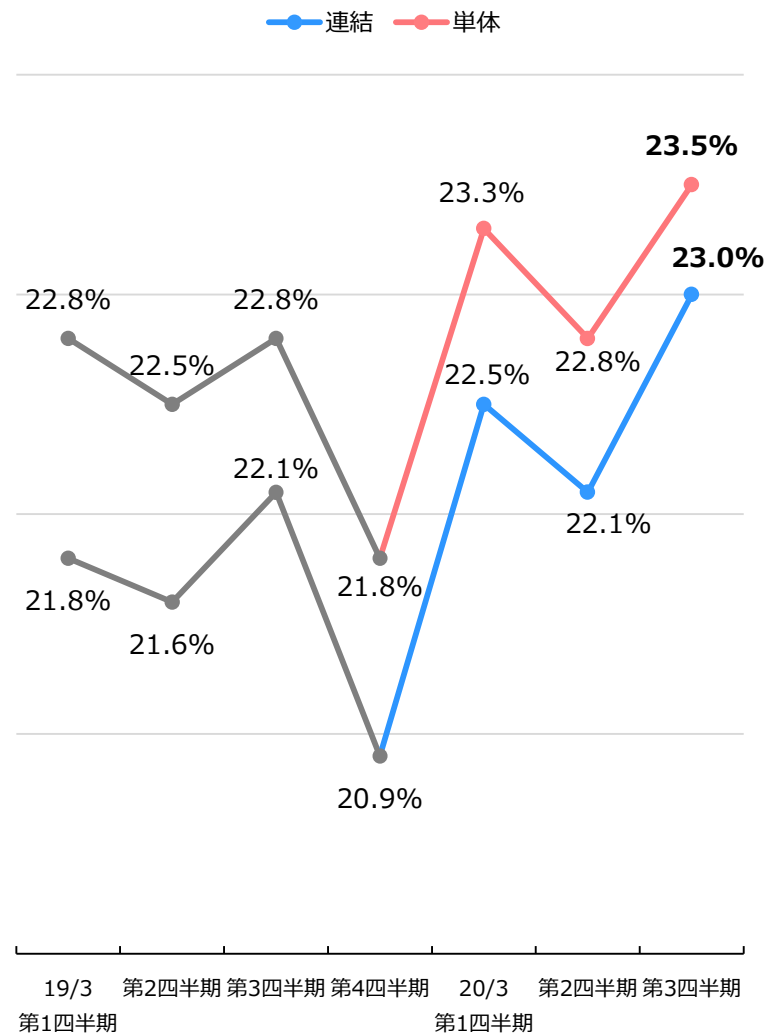
（単位：百万円）



※ 下表には、テックビルド株式会社の数値は含まれておりません。

売上総利益率	21.8%→22.3%
販売管理費	給与 +62百万円、賞与 +35百万円

売上総利益率の四半期別推移



2020年3月期第3四半期連結業績 計画進捗率

計画進捗率

(単位：百万円)

■ 当第3四半期 ■ 通期計画

売上高



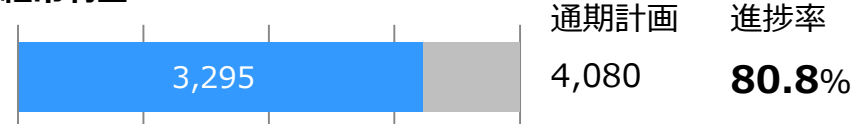
売上総利益



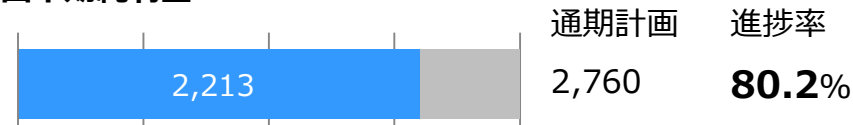
営業利益



経常利益

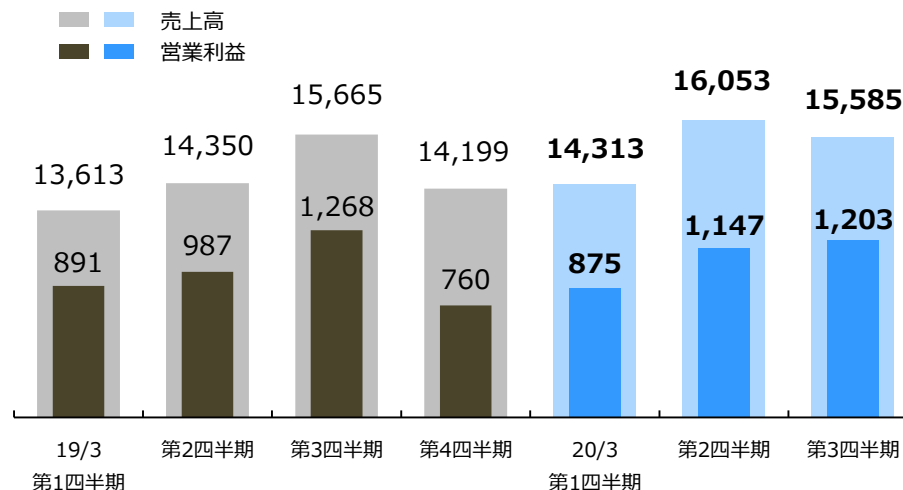


親会社株主に帰属する 四半期純利益



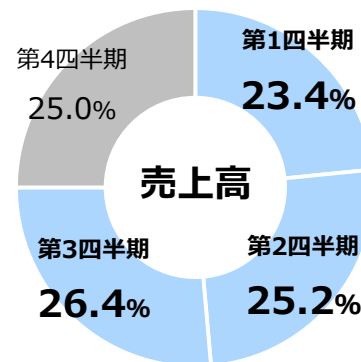
売上高・営業利益の推移

(単位：百万円)

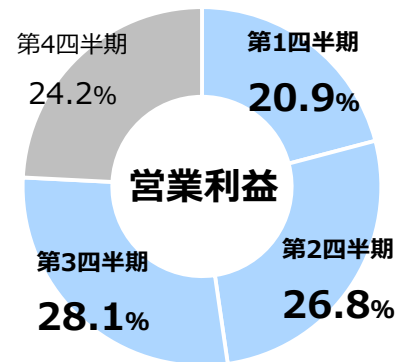


四半期別構成比 (過去5年平均)

第1～3四半期 **75.0%**



第1～3四半期 **75.8%**



連結貸借対照表 資産の部

(単位：百万円)

		前期末	当第3四半期末	増減
流動資産	現金及び預金	10,133	10,491	+357
	受取手形及び売掛金	14,306	13,664	△641
	電子記録債権	1,759	1,959	+199
	棚卸資産	4,348	5,314	+965
	その他流動資産	684	760	+75
	合計	31,232	32,189	+957
固定資産	有形固定資産	10,542	10,629	+86
	無形固定資産	1,048	987	△61
	投資その他の資産	996	735	△260
	合計	12,587	12,352	△235
資産合計		43,820	44,541	+721

連結貸借対照表 負債、純資産の部

(単位：百万円)

		前期末	当第3四半期末	増減
流動負債	支払手形及び買掛金	3,596	3,640	+43
	電子記録債務	8,233	8,315	+81
	（内訳 電子記録債務	10,319	10,483	+163
	期日前弁済	△2,086	△2,168	△82
	短期借入金	430	610	+180
	未払法人税等	764	251	△513
	その他流動負債	2,520	2,281	△238
	合計	15,546	15,099	△446
	固定負債	1,517	1,309	△207
	負債合計	17,063	16,408	△654
純資産	株主資本	28,038	29,417	+1,379
	その他の包括利益 累計額	△1,328	△1,315	+13
	新株予約権	47	31	△16
	合計	26,756	28,132	+1,376
	負債純資産合計	43,820	44,541	+721

4. 2020年3月期第3四半期の各セグメントの実績と分析

2020年3月期第3四半期セグメント別業績

(単位：百万円)

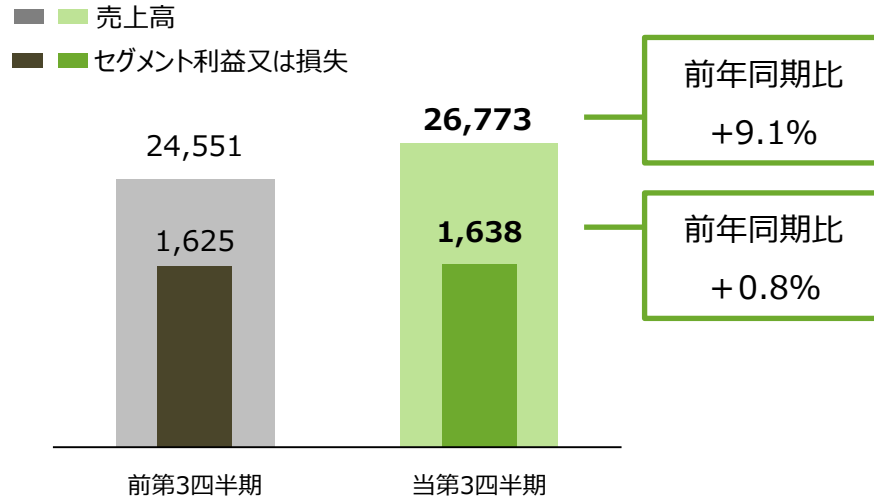
		前第3四半期	当第3四半期	増減率	通期計画	進捗率
売上高	産業資材	24,551	26,773	+9.1%	37,531	71.3%
	鉄構資材	12,737	12,569	△1.3%	16,909	74.3%
	電設資材	6,340	6,609	+4.2%	8,629	76.6%
	調整	—	—	—	—	—
	合計	43,629	45,952	+5.3%	63,070	72.9%
セグメント利益又は損失	産業資材	1,625	1,638	+0.8%	2,286	71.7%
	鉄構資材	1,357	1,379	+1.6%	1,571	87.8%
	電設資材	165	221	+34.0%	219	101.2%
	調整	△0	△12	—	△67	—
	合計	3,147	3,226	+2.5%	4,010	80.5%

※ セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

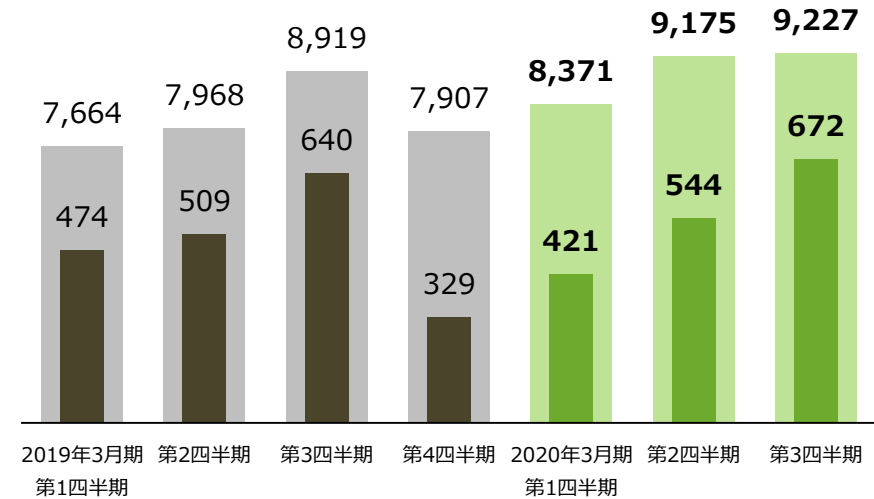
売上高・セグメント利益又は損失

(単位：百万円)

■ 前年同期比較



■ 四半期別推移



売上高 増減要因

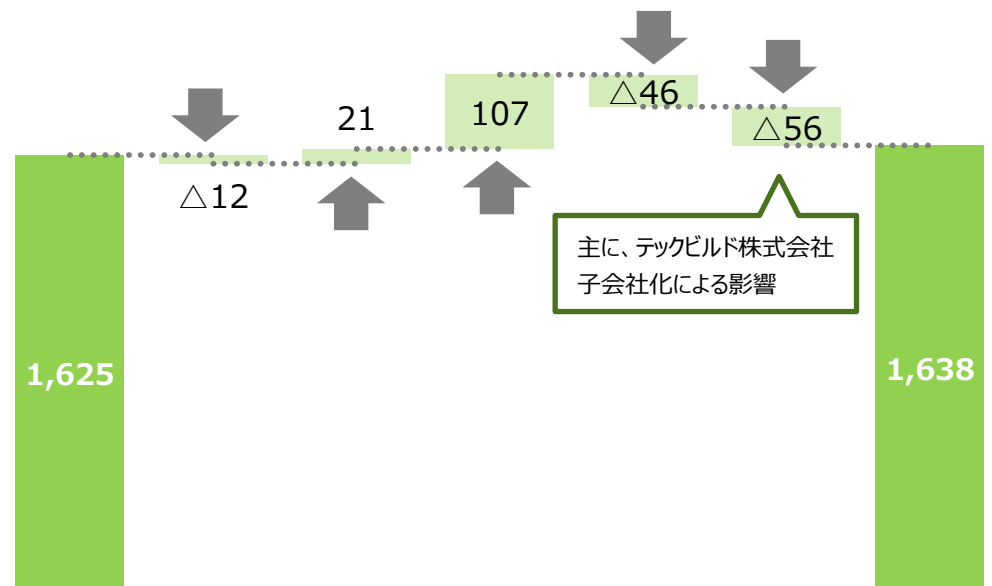
前年同期と比較して、約**2,200**百万円の増加。

前期に子会社化したテックビルド株式会社の売上高が寄与した。

売上高増減額					
製品	約 △1百万円	ブレース	/ △107百万円	需要の減少による受注減	
商品	約 +90百万円	現場用品	/ +129百万円	現場の仮囲いの需要が旺盛であり関連資材の販売が増加	
テックビルド	+2,131百万円	子会社化による増加			

セグメント利益又は損失 増減分析

(単位：百万円)

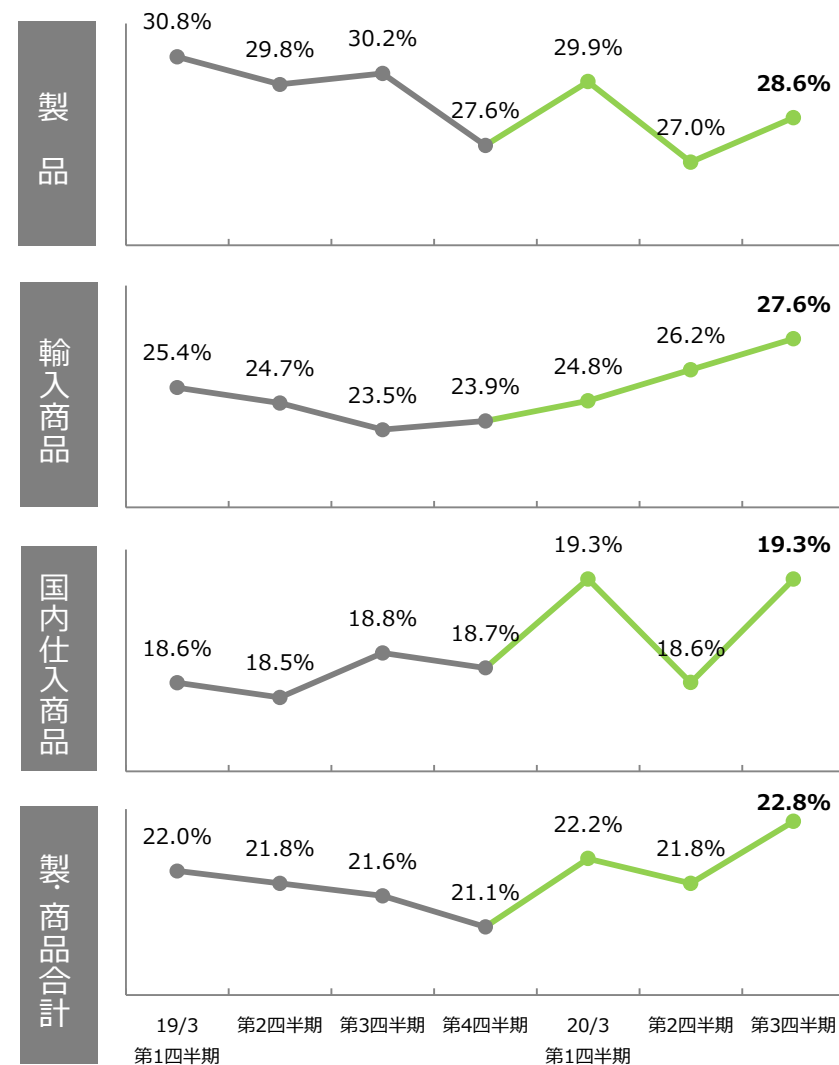


前第3四半期 販売数量 販売価格 売上総利益率 販売管理費 その他 当第3四半期

※ 下表には、テックビルド株式会社の数値は含まれておりません。

販売数量	製品 △42百万円、商品 +29百万円
販売価格	製品 +31百万円、商品 △9百万円
売上総利益率	製品 30.2% → 28.5% 商品 20.5% → 21.3% (※輸入品・国内仕入商品合計)
販売管理費	給与 +26百万円、運賃荷造費 +27百万円

売上総利益率の四半期別推移

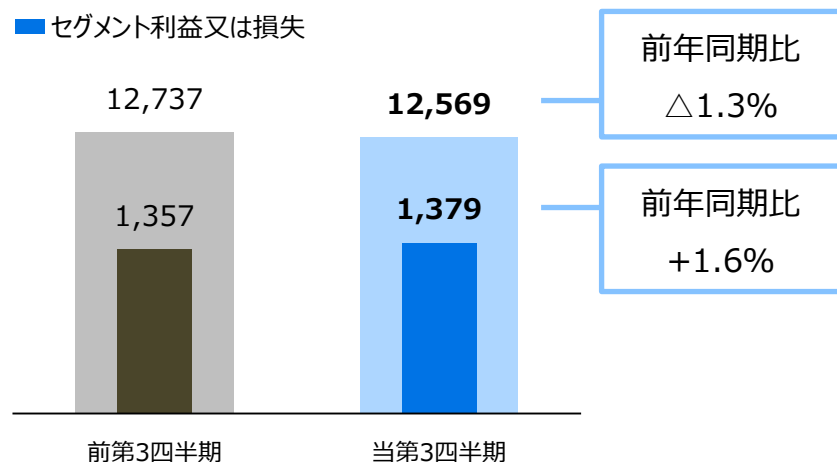


売上高・セグメント利益又は損失

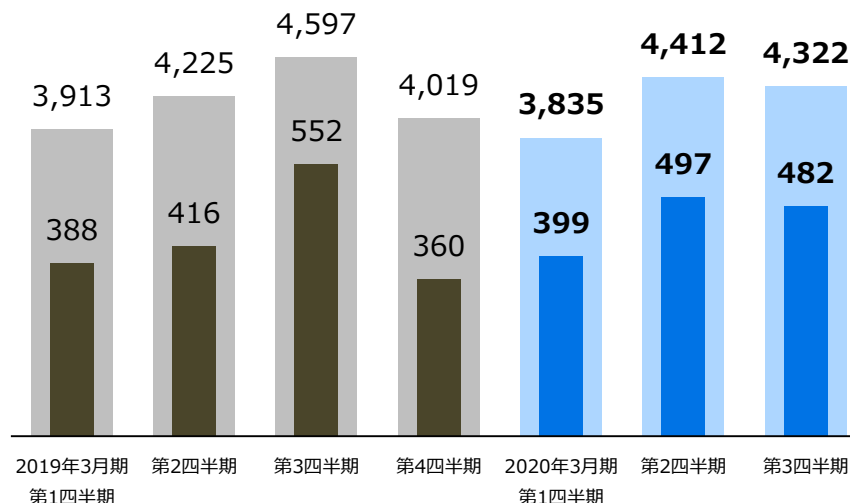
(単位：百万円)

■ 前年同期比較

- 売上高
- セグメント利益又は損失



■ 四半期別推移



売上高 増減要因

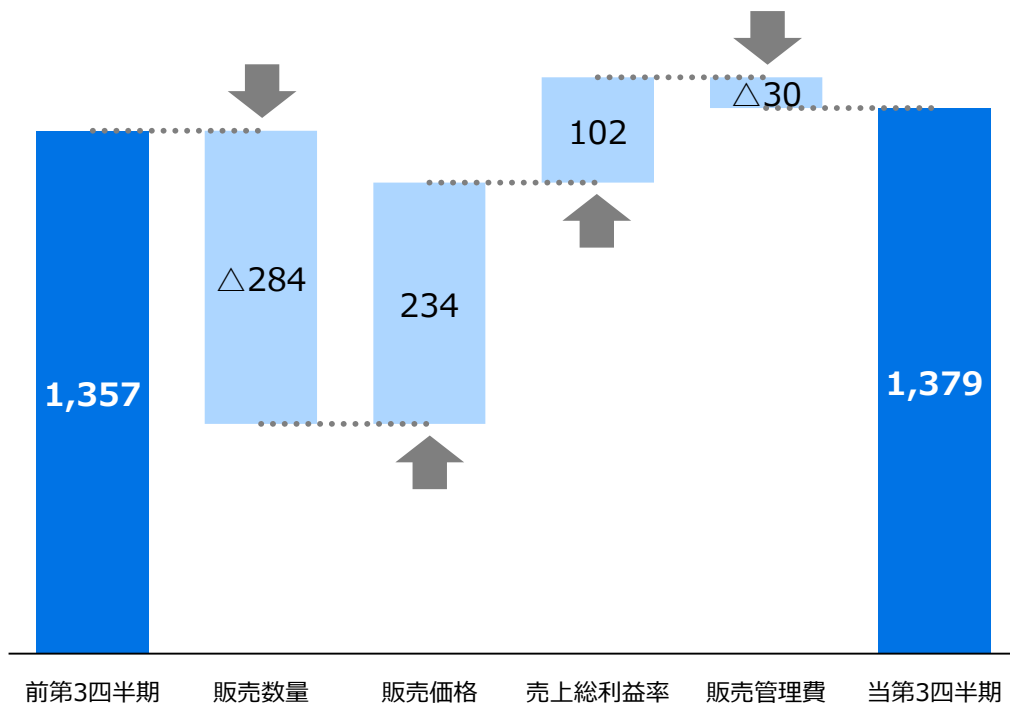
前年同期と比較して、約**170**百万円の減少。

一部資材の調達難の影響等により、アンカーボルト、鉄骨部材、ブレースなどが厳しい状況で推移した。

売上高増減額			
製品	約 △130百万円	鉄骨部材	/ △53百万円 需要の減少による受注減
商品	約 △40百万円	アンカーボルト	/ △177百万円 物件の減少による受注減

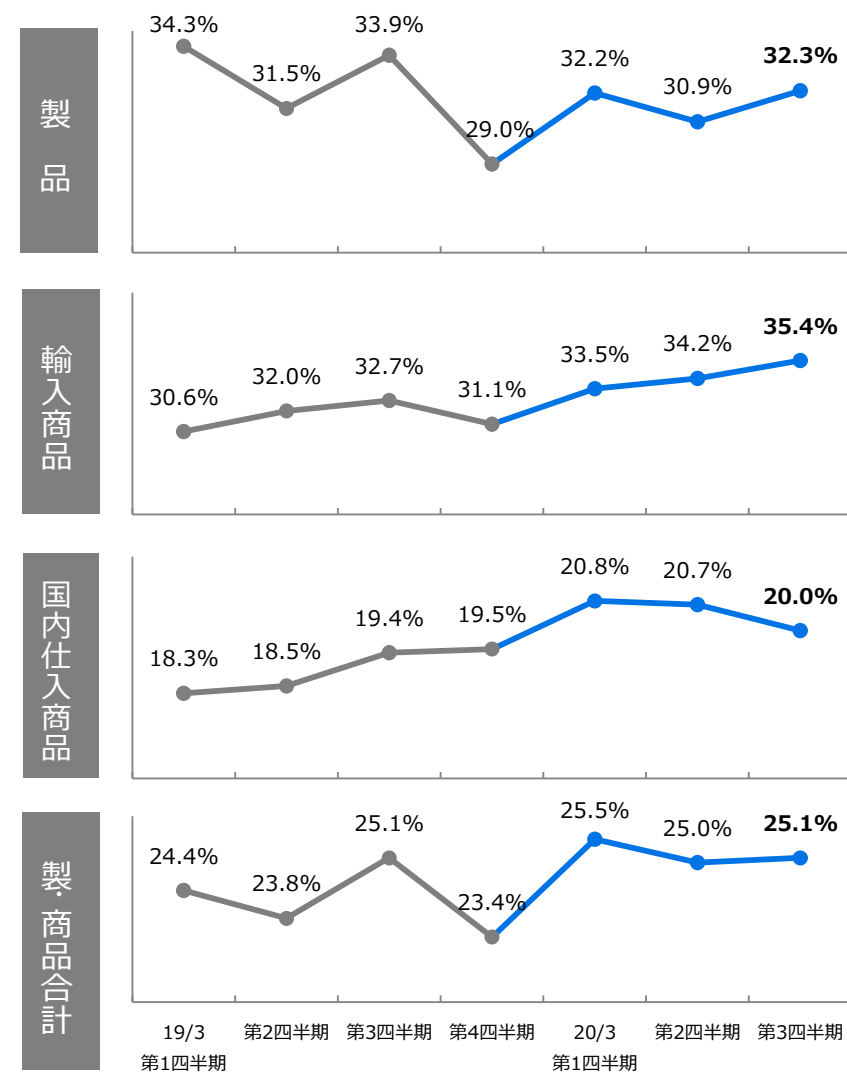
セグメント利益又は損失 増減分析

(単位：百万円)



販売数量	製品 △84百万円、商品 △199百万円
販売価格	製品 +42百万円、商品 +191百万円
売上総利益率	製品 33.2% → 31.8% 商品 20.2% → 22.1% (※輸入品・国内仕入商品合計)
販売管理費	給料 +20百万円、賞与 +25百万円

売上総利益率の四半期別推移

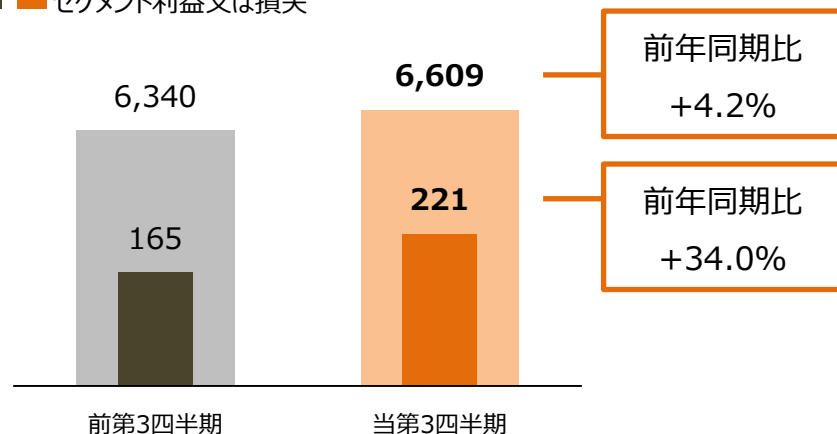


売上高・セグメント利益又は損失

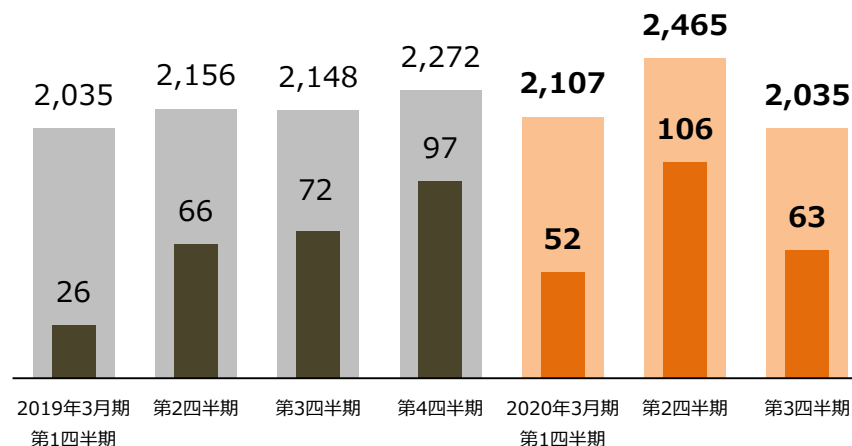
(単位：百万円)

■ 前年同期比較

- 売上高
- セグメント利益又は損失



■ 四半期別推移



売上高 増減要因

前年同期と比較して、約**270**百万円の増加。

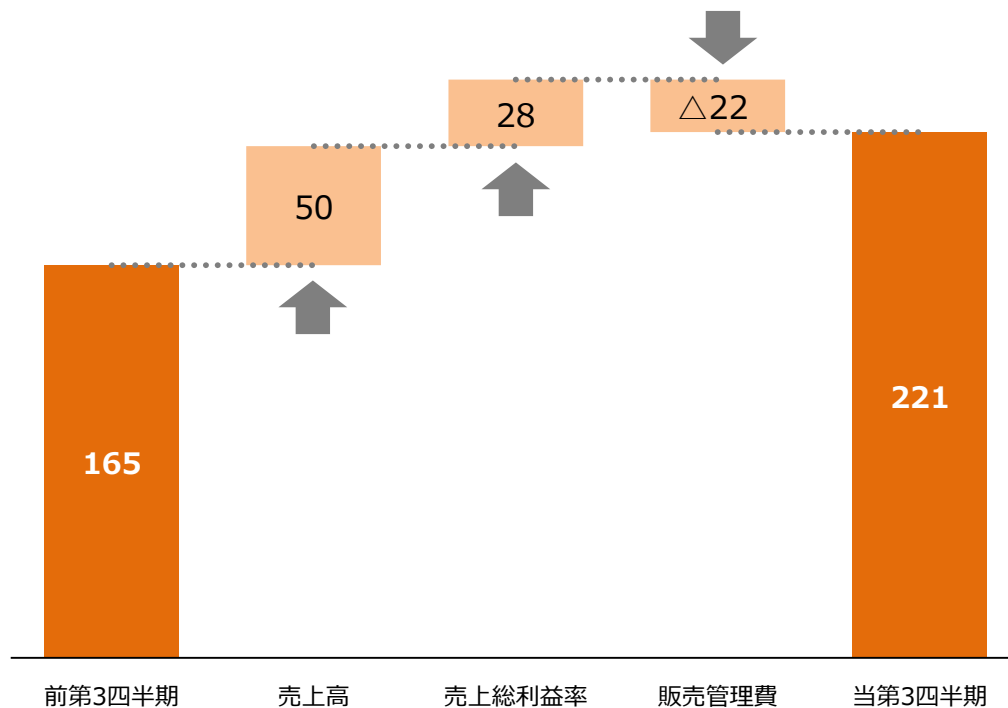
大口電気工事関連受注が減少したものの、昨年の全国的な猛暑の影響を受け、商業施設・工場・小中学校での空調機需要が堅調に推移するとともに、戸建住宅・マンション関連受注も好調に推移した。

売上高増減額

配管関係	+135百万円	原発関係部材やマンション・工場関係部材等の受注増
空調・換気扇	+94百万円	エアコンの販売台数及び販売価格が上昇したことによる増加

セグメント利益又は損失 増減分析

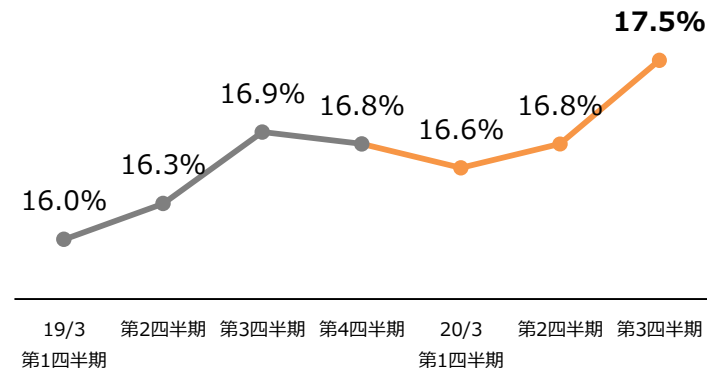
(単位：百万円)



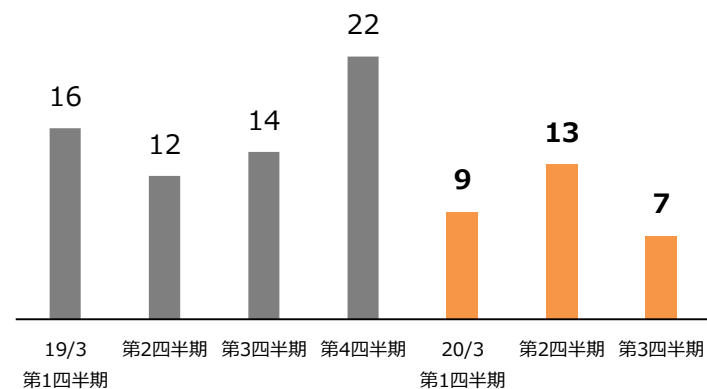
売上総利益率	16.4% → 16.9%
販売管理費	賞与 + 2百万円、支払手数料 + 14百万円

売上総利益率・物件数の四半期別推移

売上総利益率



物件数※ (件)



※物件数は、電気工事業者に対する5百万円超の物件を集計

5. ESG課題への対応

- 当社は企業活動を行うにあたり、ESG(環境、社会、ガバナンス)課題への対応を推進する経営が、持続的な成長に繋がるという認識を持っております。

マテリアリティ(重点課題)		関連するSDGs
環 境	● 環境対策に最適な製商品の提供	環境関連資材の取扱い拡充
	● 環境に配慮した事業活動	環境保護・省エネルギーへの取り組み 排出物の管理 (マテリアルバランス)
社 会	● 製造物責任・品質保証	製商品の品質管理について 安心・安全への姿勢
	● 付加価値の高い製商品・サービスの調達と提供	取引先様にとってより良い製商品の提供
	● 株主・投資家とのコミュニケーション	株主との関わり方について (機関投資家との個別面談の促進)
	● 適切な情報開示・セキュリティ	情報開示の姿勢 情報セキュリティ対策
	● 地域社会との共生	出店計画 災害への対応・貢献
	● 安全対策と働き方改革	災害等のリスク対策 従業員の健康・安全衛生のために
	● 人材育成とダイバーシティ	人材育成の方針 ダイバーシティ 福利厚生
ガバナンス	● コーポレート・ガバナンスの強化	コーポレート・ガバナンス
	● コンプライアンスの徹底	コンプライアンス基本方針

関連するSDGs

- ③保健 
- ⑥水/衛生 
- ⑦エネルギー 
- ⑪都市 
- ⑫生産消費 
- ⑬気候変動 
- ⑭海洋資源 
- ⑮陸上資源 

関連するSDGs

- ③保健 
- ④教育 
- ⑤ジェンダー 
- ⑧成長/雇用 
- ⑨イノベーション 
- ⑩不平等 
- ⑪都市 
- ⑫生産消費 

⑯平和


⑰実施手段


- ESG基本方針を経営戦略に組み込み、取り組んでいくことで、企業の持続的成長につなげてまいります。

現在の具体的な取り組み

	リスク(コスト)削減	企業価値拡大
環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 省エネ(LED照明の切替、消費電力10%削減)対策の実施 ● 毎年環境省へ定期報告書の提出 ● ISO14001の取得(2018年9月 滋賀工場取得) 	<ul style="list-style-type: none"> ● エコ関連商品の販売 ● 太陽光発電設備の設置
社会	<ul style="list-style-type: none"> ● ISO9001取得、JISをはじめ業界規格の遵守 ● リスク対策マニュアルの導入 ● 安全衛生委員会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全性の高い製商品の販売 ● 社内研修・吊り具アドバイザー制度の導入 ● 自社株買いの実施 ● 産休・育休・復職支援、留学生採用 ● 社員持株会制度 ● 株式付与制度(ESOP) の導入
ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ● ガバナンス体制の構築による潜在コストの顕在化防止 ● コンプライアンス・マニュアルの策定 	<ul style="list-style-type: none"> ● 業績連動型株式報酬制度の導入 ● 取締役会の実効性評価

生産性・収益性 **UP**

売上・事業規模 **UP**

企業の持続的成長

環境

環境対策に最適な製商品の提供

■ グリーンスイーパー

水溶性かつ無リンで、洗浄力と環境面及びコストのすべてを満たす生分解性高性能洗浄剤です。金属やゴム、プラスチックに対しても悪影響を与えません。



■ ハンドソープエコ・プロ

欧米中心にマイクロビーズ（洗顔料などに入っているプラスチック粒子）排除の動きが高まっており、生分解性が高く、環境に優しい木材由来の天然スクラブを配合しています。



■ オイルハンター

エコマーク認証を取得したりサイクル材使用の油吸着材です。油流出による海洋汚染や、油を使用する工場での油処理の際に使用されています。



環境に配慮した企業活動

■ 環境保護・省エネルギーへの取り組み

➤ 滋賀工場 ISO14001 認証取得

2018年9月に滋賀工場にて、環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得いたしました。

他3工場におきましても、「ISO14001」を順次取得する計画をしており、より一層環境保全に配慮した活動を行ってまいります。

<登録証>



<付属書>



➤ LED照明への切り替え

2015年に工場における照明設備のLED化を完了させ、現在、営業店における照明設備のLED化を進めております。2020年までに、自社物件のすべての拠点のLED化を計画しております。

また、LED化については、電設資材卸の当社子会社の三和電材株式会社とも協力して進めております。

社会

人材育成とダイバーシティ

- 多様なバックグラウンドを持った社員が各人の能力を最大限発揮して、やりがいをもって働くことが出来るように職場環境を整えております。

■ 過去5年 総合職新入社員の状況

入社年度	男	女	合計	留学生国籍	離職者数(※)
2019年度	19名	4名	23名	ブラジル	0名
2018年度	12名	6名	18名	韓国	0名
2017年度	8名	10名	18名		0名
2016年度	9名	9名	18名		6名 (うち結婚退職 2名)
2015年度	12名	9名	21名	タイ・ベトナム	6名

(※) 2019年9月末時点

■ 有資格者一覧

資格名	人数	資格名	人数
1、2級建築士	3名	床上操作式クレーン運転技能	100名以上
1、2級土木施工管理技士	6名	玉掛技能	100名以上
1、2級建築施工管理技士	6名	フォークリフト運転技能	100名以上
乙種4類危険物取扱者	49名	公認会計士	2名

■ 福利厚生制度

▶ 育児休業取得者

年度	育休取得者	左記のうち新規取得者	復職者
2019年度(※)	3名	0名	3名
2018年度	5名	2名	3名
2017年度	5名	2名	1名

(※) 2019年5月時点

▶ 社員・役員への還元制度

- 社員への賞与は業績連動制としております。
- 役員・社員に対する株式付与制度を導入しております。

TOPIC 東京オリンピックを目指すアスリート社員のご紹介

当社は陸上部に所属する社員の競技支援を継続的に行っています。



アスリート社員

氏名	競技種目
(左) 久世 生宝	やり投げ
(右) 山本 実果	円盤投げ

ガバナンス

コーポレート・ガバナンス

- 当社は、経営の健全性、透明性、効率性を向上させ、企業価値を最大化していくことによってコーポレート・ガバナンスを強化、充実することを経営の最も重要な課題の一つであると認識しております。

経営陣幹部・取締役の報酬の決定

当社の取締役（社外取締役を除く）及び当社の執行役員の短期・中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託（BBT（=Board Benefit Trust））」を導入しております。

社外役員の有効な活用

当社では、多様な経験・見識等を有した独立社外取締役2名、独立社外監査役2名選任しております。独立社外取締役及び独立社外監査役は独立性をもって経営の監査及び助言をすることで、取締役会の透明性の向上及び監督機能を強化する役割を担っております。

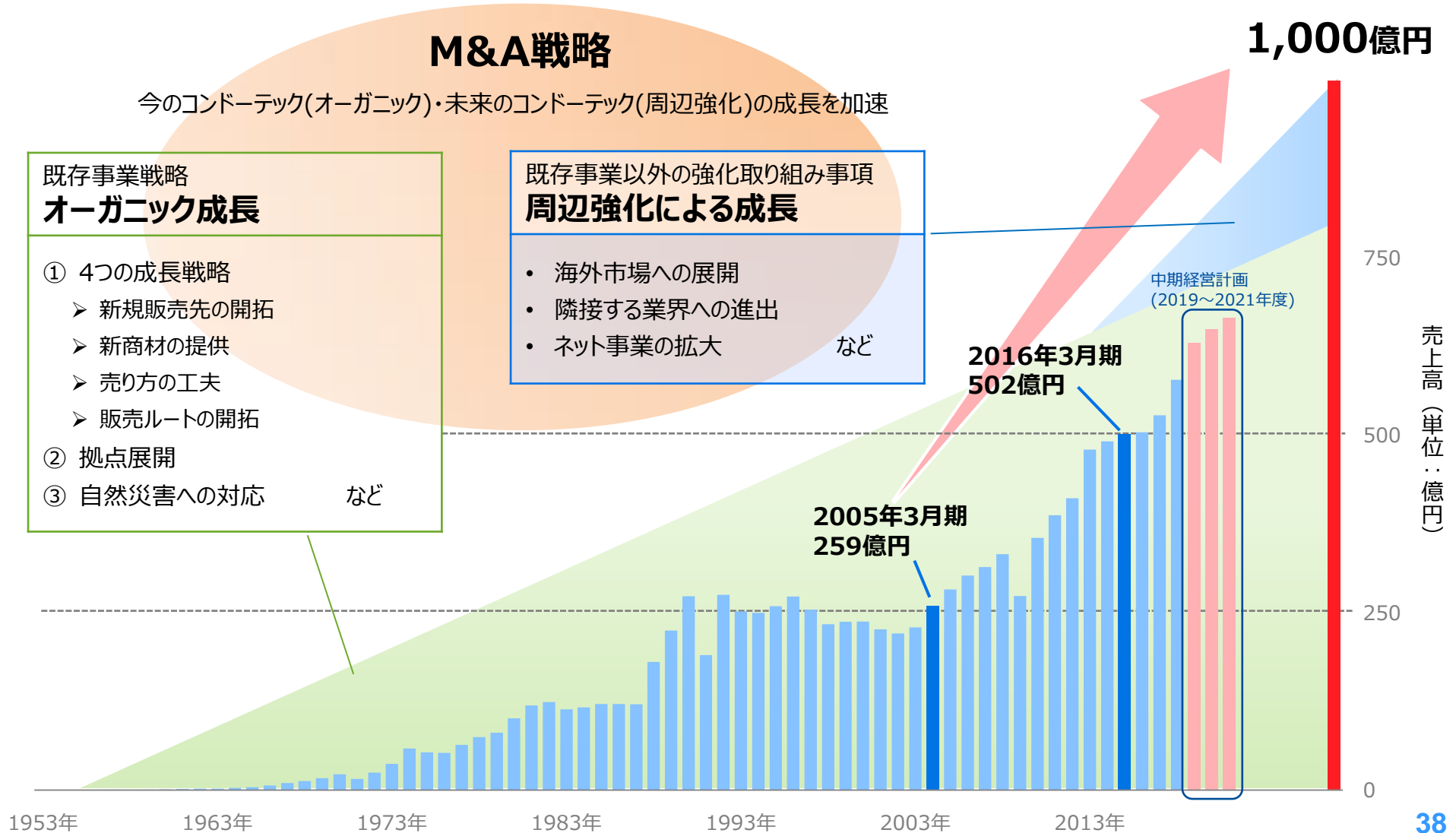
経営戦略や経営計画の策定・公表

当社は、自社の資本コスト(加重平均資本コスト(WACC))を的確に把握した上で、中期経営計画を策定し、売上高、営業利益、自己資本当期純利益(ROE)及び連結純資産配当率(DOE)等の目標値、目標を実現するための成長投資(人材投資、設備投資、戦略的投資等)などの経営資源の配分計画を、当社ホームページ等で開示するとともに、決算説明会等を通じ目標達成に向けた具体的な施策を説明しております。なお、中期経営計画は、業績、将来の社会情勢及び経済情勢を踏まえて、毎年見直しを行っており、変更が生じた際は、変更の背景や内容について、決算説明会や株主総会等で説明を行います。

6. 成長戦略

売上高1,000億円を目指して

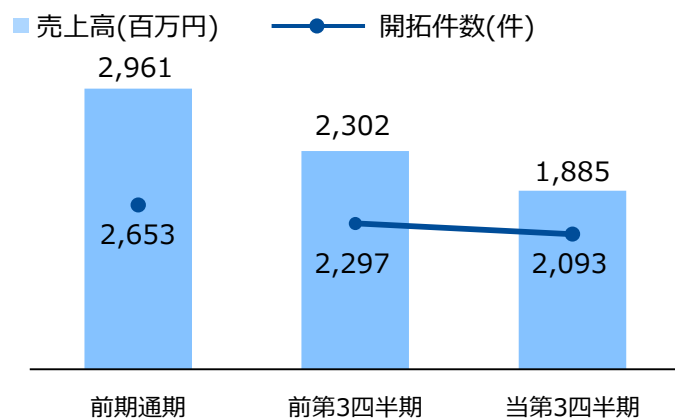
- 成長戦略を推進し、既存コア事業の一層の収益力強化と今後成長が見込まれる分野への進出を進め、2020年代中に**売上高1,000億円**を目指してまいります。



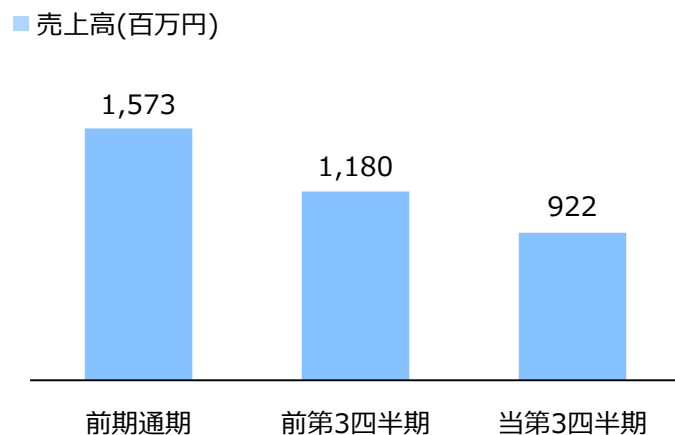
新規販売先の開拓

- 営業担当者 1 人当たり、月平均1社の新規販売先を開拓しております。また、1人当たり年平均10社の休眠顧客の掘り起こしを実施しております。
- これらの活動が販売取引社数2万社超の源泉となっております。

新規販売先の開拓



休眠顧客の掘り起こし



新商材の提供

- 新商材開発のため、販売先からの要望や改善策について、定期的に営業部門と製造部門の合同の新商材委員会を開催し、より付加価値の高い商材を開発・開拓し、供給できるよう取り組んでまいります。

売上高 (百万円)		前第3四半期	当第3四半期
コンドー胴縁ボルト		77	133
角フックボルト		119	139
KTハーネス安全带		4	17
CMLレバーホイスト		-	15

売り方の工夫

■ サービスの差別化

➢ 吊り具アドバイザーの設置

社内認定資格として吊り具アドバイザーを設置し、吊り具の専門性を高め、サービスの差別化を図っております。

➢ カタログの工夫

取扱品総合カタログのほか、「吊り具」や「港湾用資材」「鳥獣害対策資材・農業用資材」など、特定の分野、お客様に特化したカタログも発行しております。

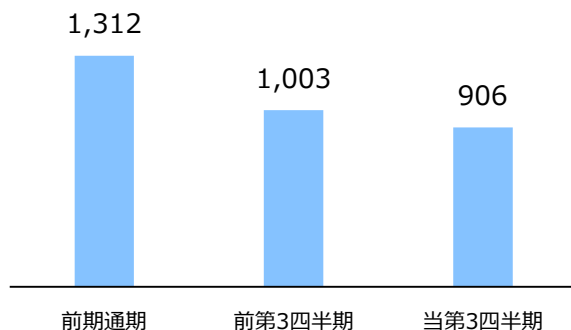


(左) 吊り具カタログ
(右) 鳥獣害対策・農業用資材カタログ

■ アンカー施工の実施

アンカー施工を請け負い、建築の初期段階に入ること、そのあとに必要な建設資材の情報をいち早く掴み、営業に活かしております。

アンカー施工の売上高 (百万円)

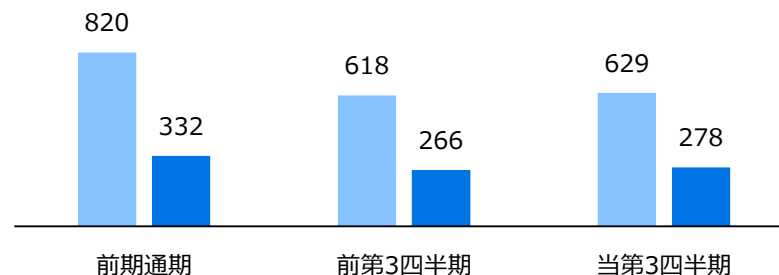


販売ルートの開拓

- 既存の販売ルートだけでなく、ホームセンターや鉄道会社など新業種への事業拡大を図っております。
- インターネットを通じた販売形態を模索するため、2017年7月にeコマースグループを開設しております。

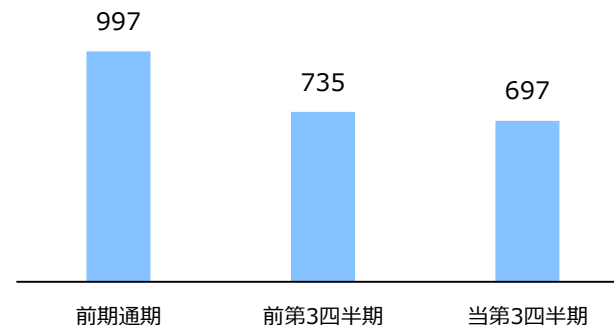
売上高 (百万円)

■ ホームセンター ■ 鉄道会社



- 近年受注が増加している大手商社、ゼネコンの本部サイドからの集中購買、一括購入への対応として、首都圏営業の専任部隊を設置しております。

首都圏営業の売上高 (百万円)



- お客様のニーズに迅速に対応すべく、地域に密着した販売体制を整えられるような拠点展開を目指しております。直近では、2017年7月にeコマースグループ、2018年4月に岡山営業所を開設いたしました。今後もクイックデリバリーで顧客重視の経営を実現してまいります。

全83販売拠点へ拡大 (2019年12月末時点)

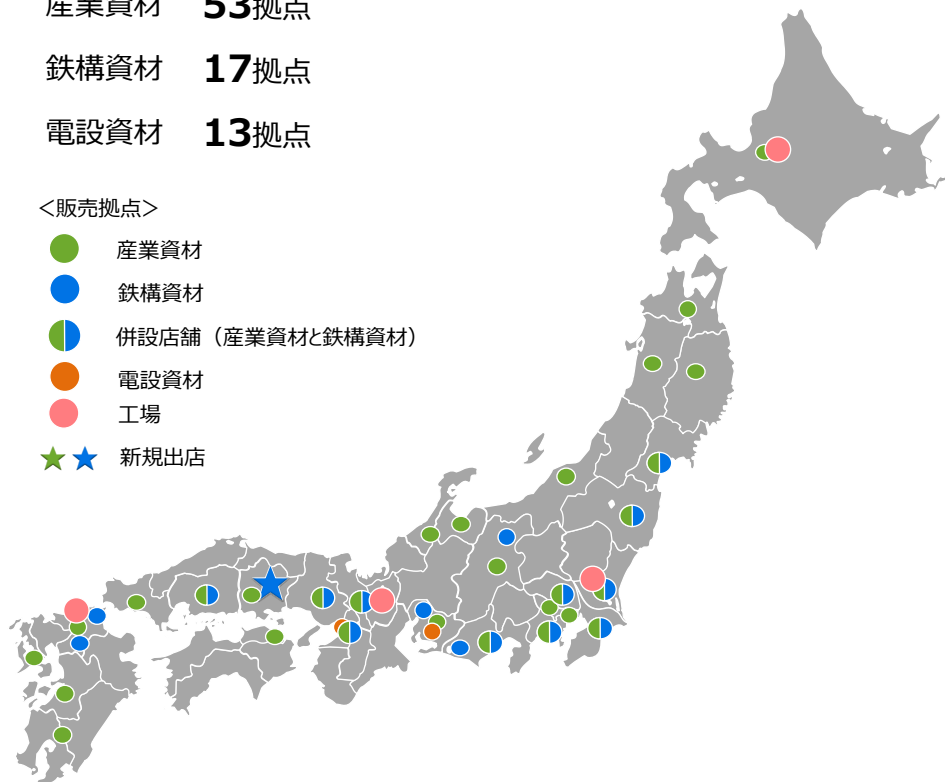
産業資材 **53**拠点

鉄構資材 **17**拠点

電設資材 **13**拠点

<販売拠点>

- 産業資材
- 鉄構資材
- 併設店舗 (産業資材と鉄構資材)
- 電設資材
- 工場
- ★ ★ 新規出店

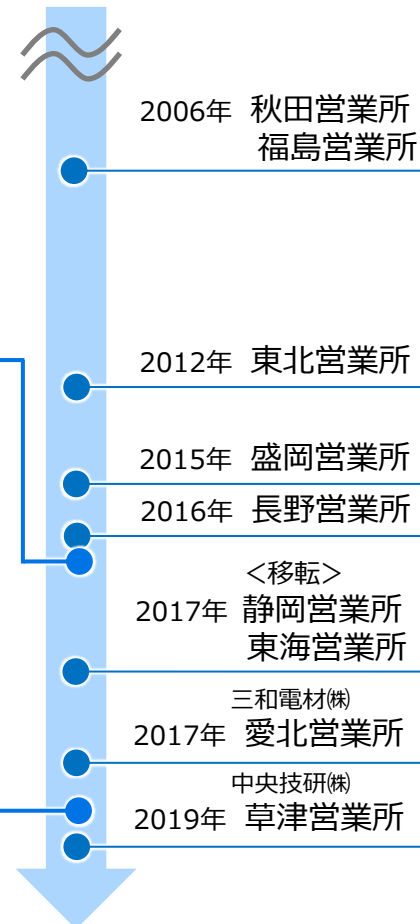


拠点展開の歩み

2016年4月 熊本営業所



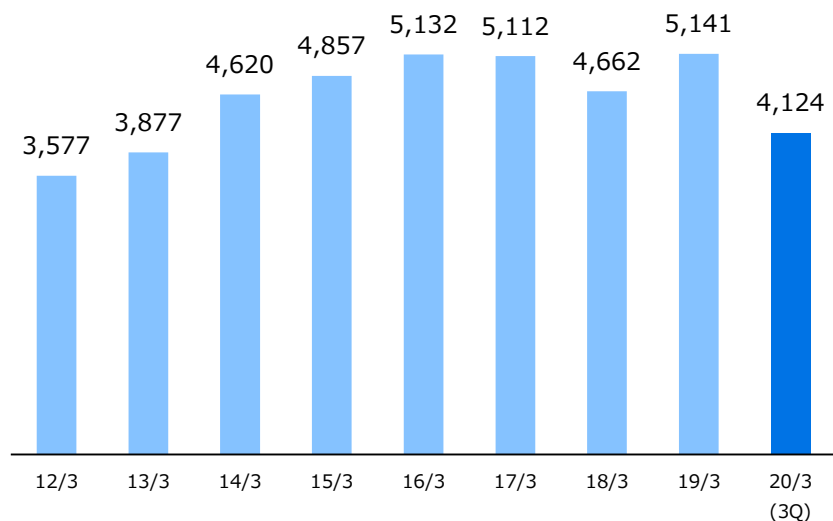
2018年4月 岡山営業所



自然災害への対応

- 震災の復旧・復興や、各地で猛威をふるう大雨などの異常気象が発生した場合、緊急を要する資材の需要に即座に対応できる体制を整えています。

■ 自然災害関連資材の売上高 (百万円)



関連
商材

コンテナバッグ



ブルーシート・土のう袋類



ネット・シート類



国土交通省が公表した「新たなステージ」への対応

- 国土交通省は、明らかに雨の降り方が変化していること等を「新たなステージ」として認識し、危機感をもって防災・減災対策に取り組むことを求めています。
- 「新たなステージ」へ対応するために、被害を最小限におさえるべく、事前の備えにも注力してまいります。

近年の異常な気象状況

時間雨量が50mmを上回る豪雨が全国的に増加し、雨の降り方が局地化、集中化、激甚化している →「新たなステージ」として認識

災害をもたらした気象事例

平成24年7月九州北部豪雨	九州北部を中心に大雨
平成26年8月豪雨	西日本から東日本の広い範囲で大雨 (広島県にて土砂災害発生)
平成30年7月豪雨	西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨
令和元年 台風19号	東日本を中心に暴風雨

「新たなステージ」に対応するためには、**インフラの被害をできる限り軽減**するとともに、**早期復旧できるよう事前の備え**を講じる必要がある

(国土交通省 HPより)

周辺強化による成長 海外市場への展開

- 成長が見込まれる海外市場への展開を進めていくことが収益力の強化になると考え、2012年11月にタイ現地法人を設立、2014年8月には増資を行うとともに共同出資会社2社より全株式を取得し、実質的に当社の完全子会社といたしました。
- 現在はタイを拠点としたASEAN諸国での事業エリアの拡大に向けて活動を行っております。
- 今後は、販路の増強や海外での人員増を含めたさらなる営業力の強化により、海外売上高比率を高めてまいります。

タイ現地法人

商号	KONDOTEK INTERNATIONAL (THAILAND) CO.,LTD.
本社所在地	タイ・バンコク市内
事業内容	タイにおける産業資材、鉄構資材及び電設資材等の輸出入と現地国内販売
資本金	102百万バーツ（約316百万円）
設立年月日	2012年11月1日

海外売上高 2020年3月期第3四半期の状況

(単位：百万円)	前第3四半期	当第3四半期	計画
海外営業部	28	30	70
タイ現地法人	223	218	283
合計	251	248	353

※グループ間取引金額は含まれておりません。

国別海外売上比率 2020年3月期第3四半期

アセアン	88%	タイ	30%
中近東	7%	インドネシア	29%
東アジア/中国	4%	ベトナム	22%
その他	1%	シンガポール	6%
		マレーシア	1%



- 企業の買収や資本・業務提携を、事業基盤の強化を図るための重要な戦略の一つと位置づけております。

M&Aにおける4つの視点



1. 隣接する業界

建設業界以外の業界に関わる企業をM&Aし、事業の拡大を図る

実績：三和電材株式会社

2. 事業の深掘り

部材メーカー等をM&Aし、既存事業を深掘りする

実績：中央技研株式会社
テックビルド株式会社

3. 事業エリアの拡大

海外拠点保有企業をM&Aし、販売フィールドを拡大する

4. 販売形態の拡充

小売、カタログ販売、ネット販売といった既存事業とは異なる販売形態の企業をM&Aし、販売形態を拡充する

7. 株主還元

- ROE10%以上、DOE2.5%以上を目標とし、継続的増配を実現してまいります。
- 保有株式数に応じて、お米券を年1回贈呈いたします。

※ DOE…純資産配当率。純資産の中から配当金として還元する割合を示す。

配当の推移

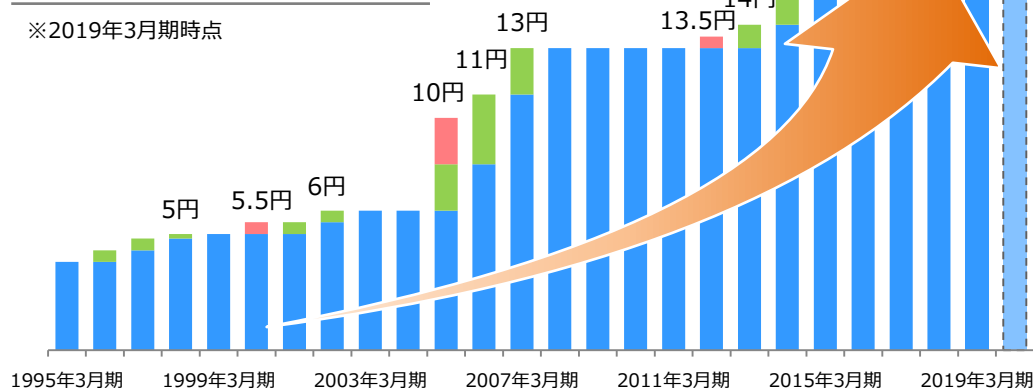
■ 普通配当 ■ 普通配の増配分 ■ 記念配当

上場来 減配なし 9期連続の増配を予定

配当に関連する経営指標

ROE	配当性向	DOE
10.7%	25.3%	2.7%

※2019年3月期時点



※2012年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり配当金は当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を表記しております。

配当利回り

1月31日終値1,125円をもとに算定

配当利回り※

2.6%

優待込み 配当利回り※

~3.4%

株主優待

保有株式数

優待内容

100株以上 1,000株未満

お米券 2kg分
(880円相当)

1,000株以上 10,000株未満

お米券 5kg分
(2,200円相当)

10,000株以上

お米券 10kg分
(4,400円相当)

※おこめ券1kg分は440円相当となっております。

自己株式取得

取得価格の総額

800百万円 (上限)

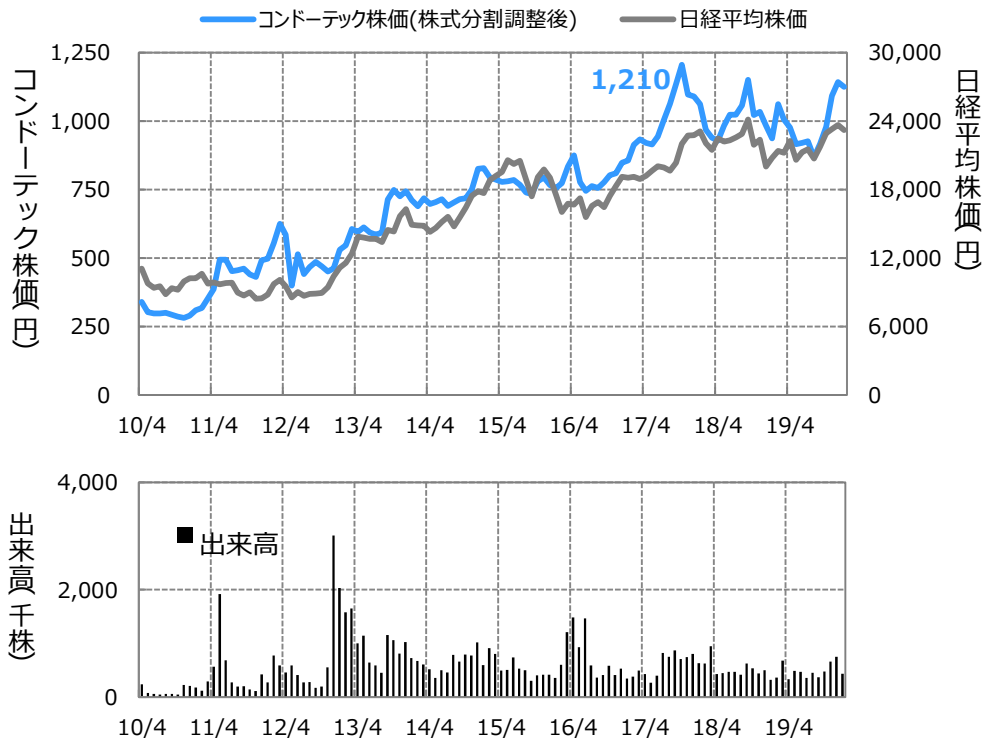
取得株式の総数

800,000株 (上限)

取得期間

2019/11/8~2020/9/30

株価推移



※2012年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。
 これに伴い、株価、出来高は当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の終値を表記しております。
 ※2012年12月に公募増資、第三者割当増資を行っております。

1月31日終値 **1,125円**
PER : 10.9 **PBR : 1.13**

EPS : 103.04円 (2020年3月期予想)
 BPS : 996.99円 (2019年3月末) で計算

当社の上場企業におけるランキング順位

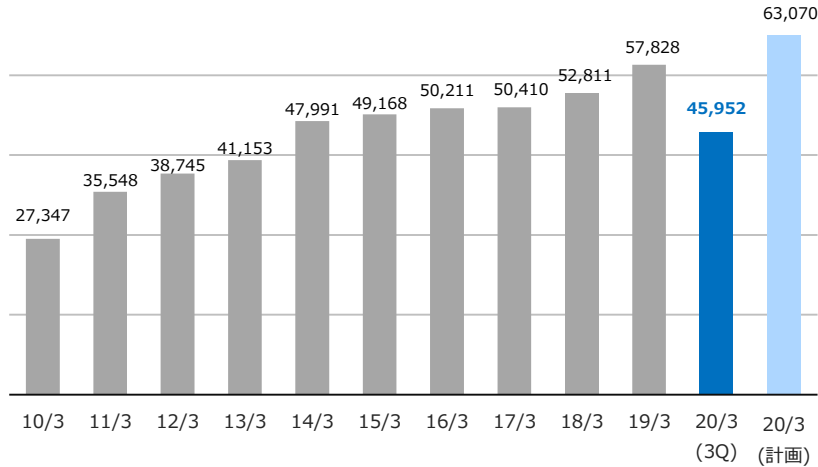
上場企業**3,777**社中…

ROE	1,195位
当期純利益	1,185位
経常利益	1,234位
純資産額	1,464位
時価総額	1,562位
PBR	2,137位
PER	2,813位

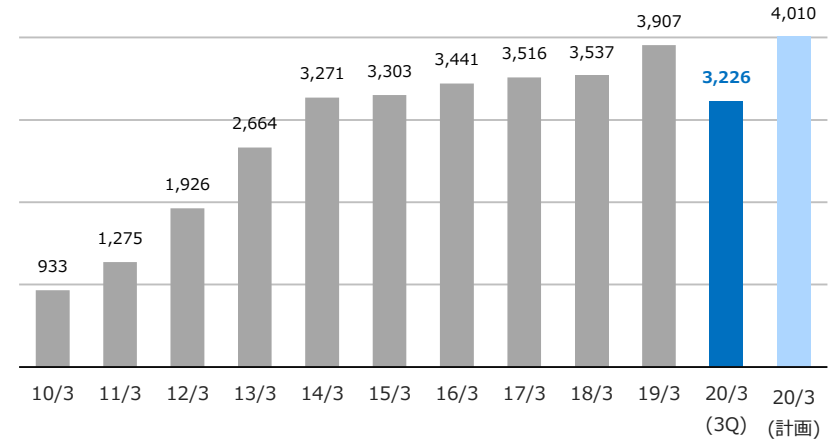
※データはみずほ証券資料を参照。ランキングは2019年9月30日時点のもの。

8. 業績ハイライト

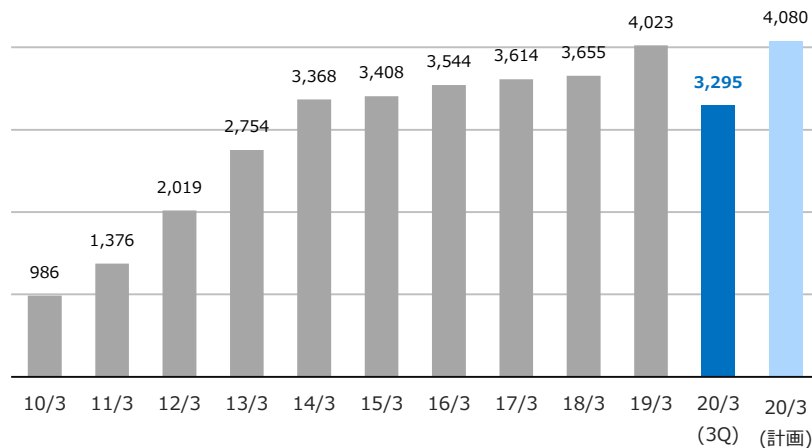
売上高 (百万円) **45,952** 百万円 計画進捗率 72.9%



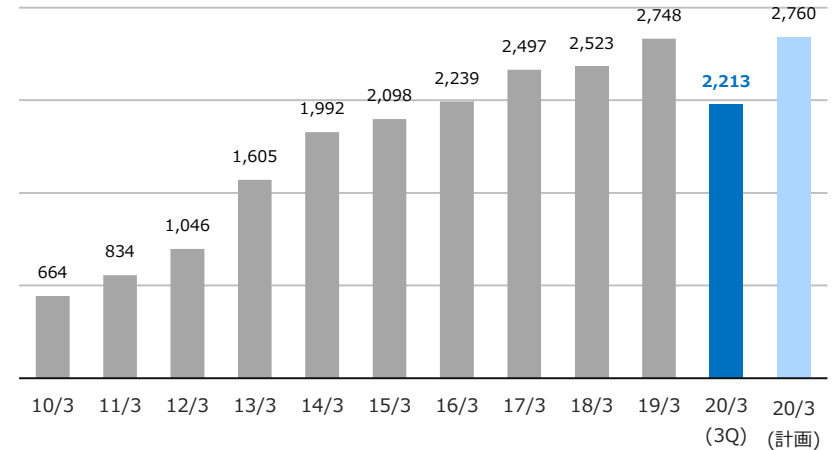
営業利益 (百万円) **3,226** 百万円 計画進捗率 80.5%



経常利益 (百万円) **3,295** 百万円 計画進捗率 80.8%

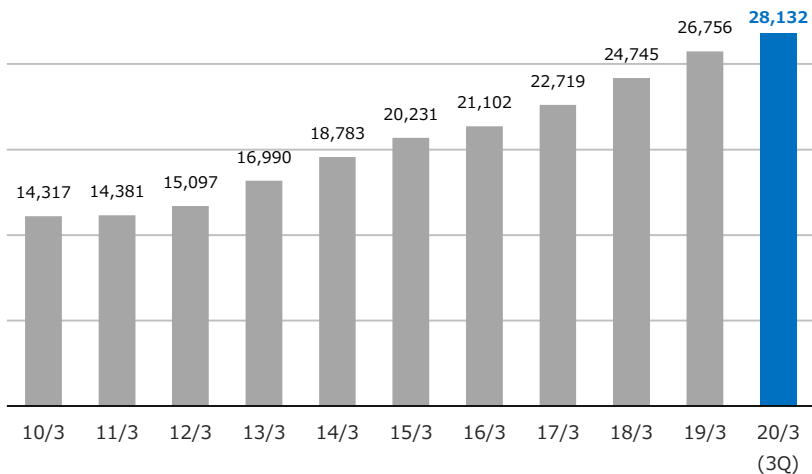


親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) **2,213** 百万円 計画進捗率 80.2%



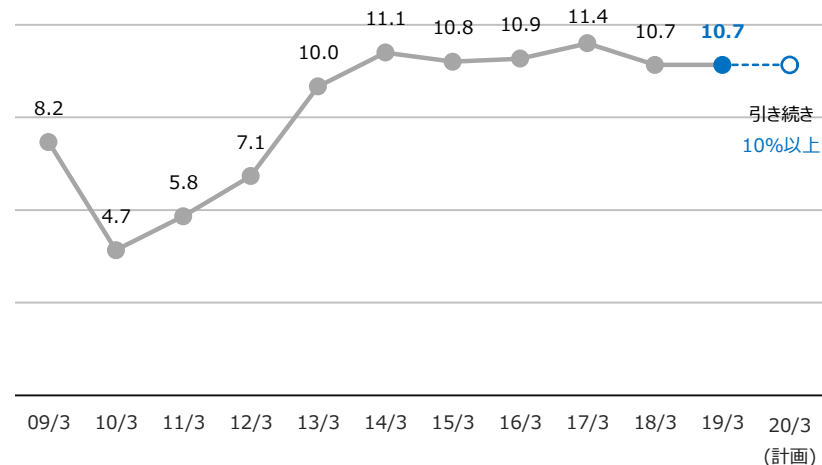
純資産 (百万円)

28,132 百万円



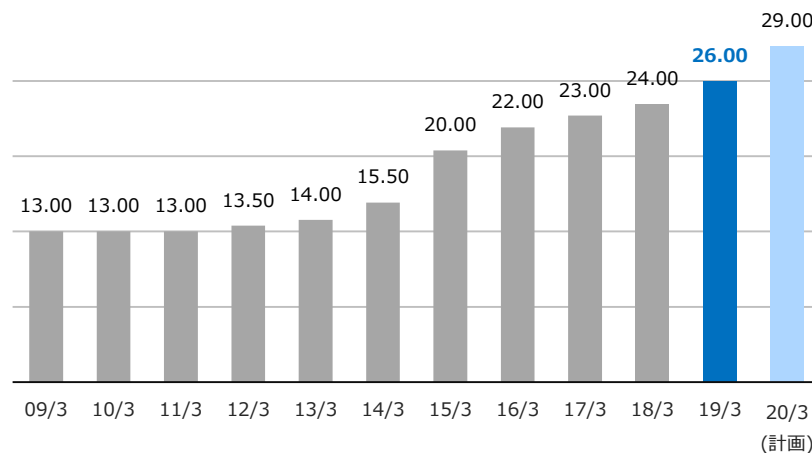
ROE (%)

目標 **10** %以上



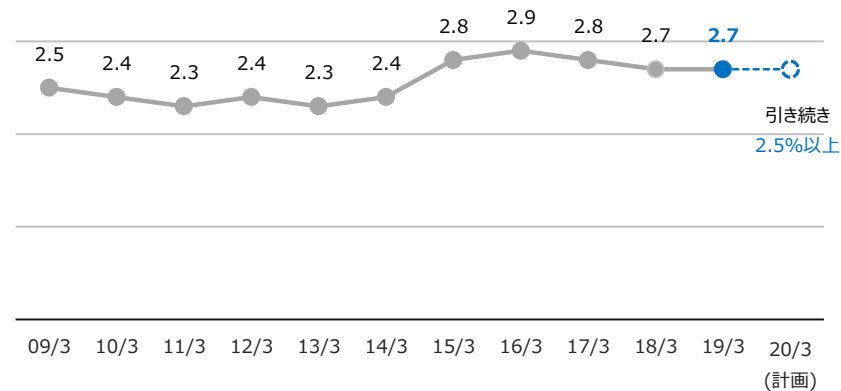
配当金 (円)

29.00 円を予定



DOE (%)

目標 **2.5** %以上

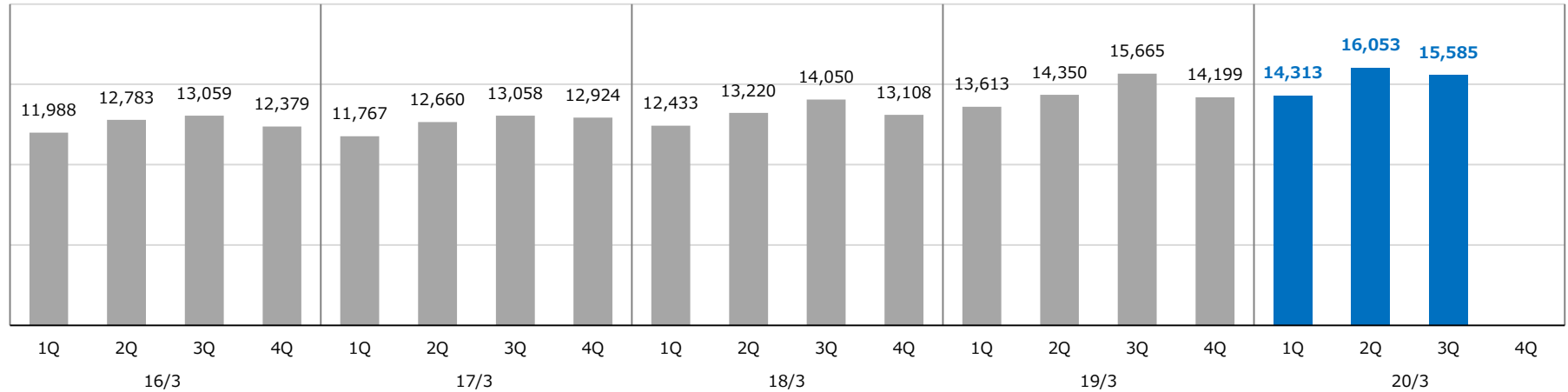


	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3 3Q	20/3 (計画)
経営成績 (百万円)												
売上高	27,347	35,548	38,745	41,153	47,991	49,168	50,211	50,410	52,811	57,828	45,952	63,070
営業利益	933	1,275	1,926	2,664	3,271	3,303	3,441	3,516	3,537	3,907	3,226	4,010
経常利益	986	1,376	2,019	2,754	3,368	3,408	3,544	3,614	3,655	4,023	3,295	4,080
親会社株主に帰属する当期純利益	664	834	1,046	1,605	1,992	2,098	2,239	2,497	2,523	2,748	2,213	2,760
設備投資額	632	240	180	566	679	403	842	695	423	981	-	-
減価償却費	380	457	428	390	418	449	405	438	423	404	-	-
財政状態 (百万円)												
総資産	23,616	26,194	28,403	31,192	34,481	35,186	34,645	36,524	39,313	43,820	44,541	-
純資産	14,317	14,381	15,097	16,990	18,783	20,231	21,102	22,719	24,745	26,756	28,132	-
有利子負債	-	900	705	808	806	636	508	501	500	853	-	-
キャッシュ・フロー (百万円)												
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,109	1,219	1,454	2,077	1,887	1,818	1,945	2,737	2,429	2,699	-	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,437	△ 320	△ 1,511	△ 494	△ 660	828	△ 829	△ 646	△ 506	△ 1,551	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 336	△ 736	△ 550	426	△ 389	△ 699	△ 1,092	△ 1,032	△ 703	△ 915	-	-
現金及び現金同等物の期末残高	3,234	3,396	2,790	4,798	5,636	7,626	7,594	8,660	9,893	10,133	10,491	-
1株当たり情報 (円) *												
1株当たり当期純利益	25.62	32.19	40.36	60.77	72.13	75.91	81.01	93.29	94.25	102.65	82.58	103.04
1株当たり純資産	552.30	554.79	582.41	615.12	679.27	730.49	774.18	846.59	922.62	996.99	-	-
1株当たり配当額	13.00	13.00	13.50	14.00	15.50	20.00	22.00	23.00	24.00	26.00	-	29.00
財務指標												
売上高営業利益率 (%)	3.4	3.6	5.0	6.5	6.8	6.7	6.9	7.0	6.7	6.8	7.0	6.4
ROE (%)	4.7	5.8	7.1	10.0	11.1	10.8	10.9	11.4	10.7	10.7	-	10%以上
自己資本比率 (%)	60.6	54.9	53.2	54.5	54.4	57.4	60.8	62.1	62.8	61.0	63.1	-
DOE (%)	2.4	2.3	2.4	2.3	2.4	2.8	2.9	2.8	2.7	2.7	-	2.5%以上
株価指標 *												
期末株価終値 (円)	308	353	625	606	718	786	834	933	939	1,006	1,142	-
株価収益率 (倍)	12.0	11.0	15.5	10.0	10.0	10.4	10.3	10.0	10.0	9.8	-	-

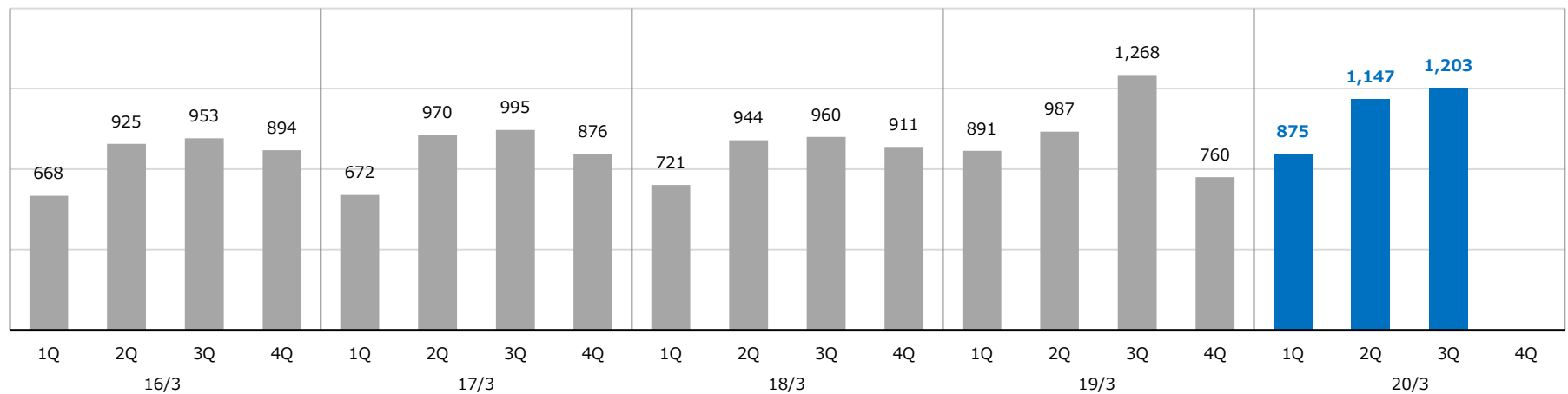
* 2012年1月1日付の株式分割（1株を2株に分割）については、2010年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し表示しております。

連結

売上高 (百万円)

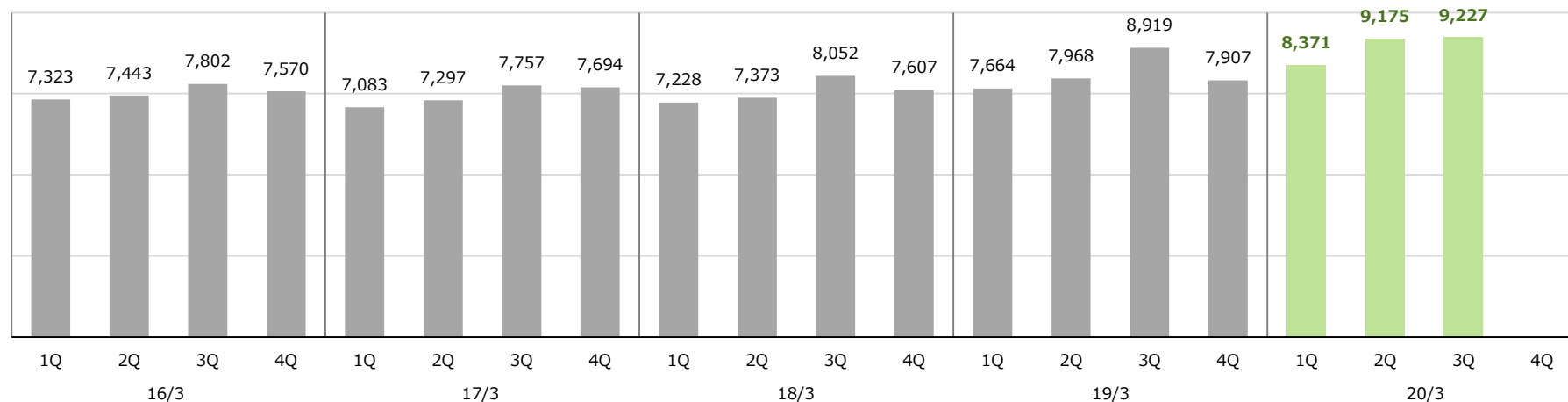


営業利益 (百万円)

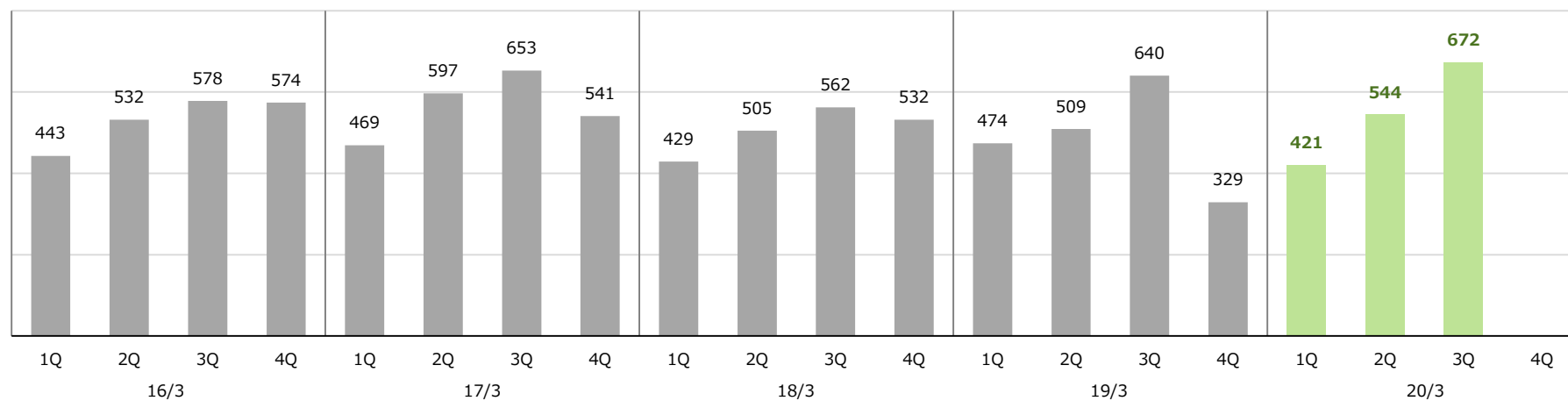


産業資材

売上高 (百万円)

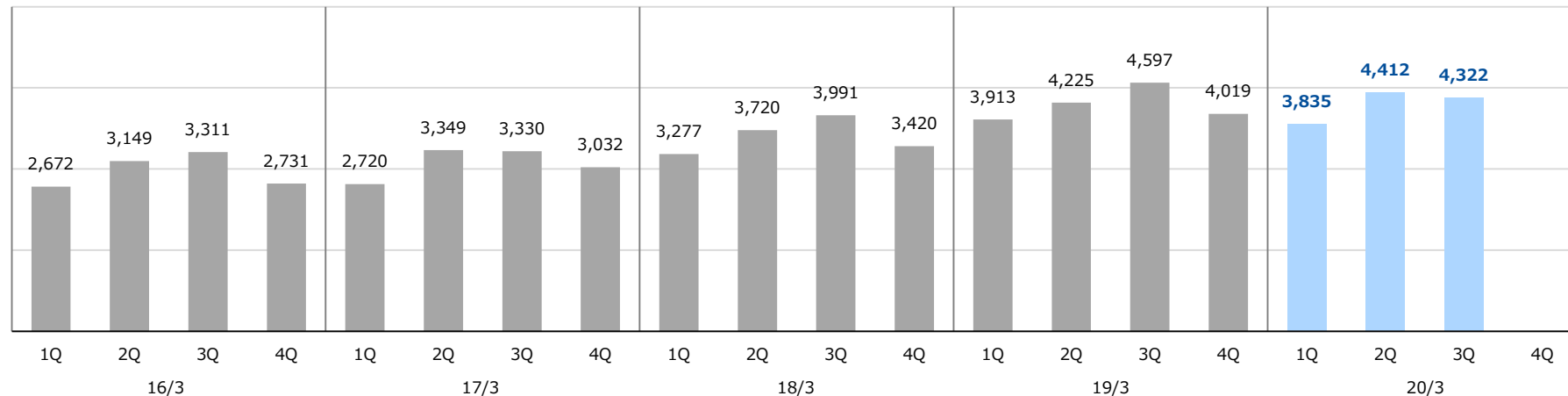


セグメント利益又は損失 (百万円)

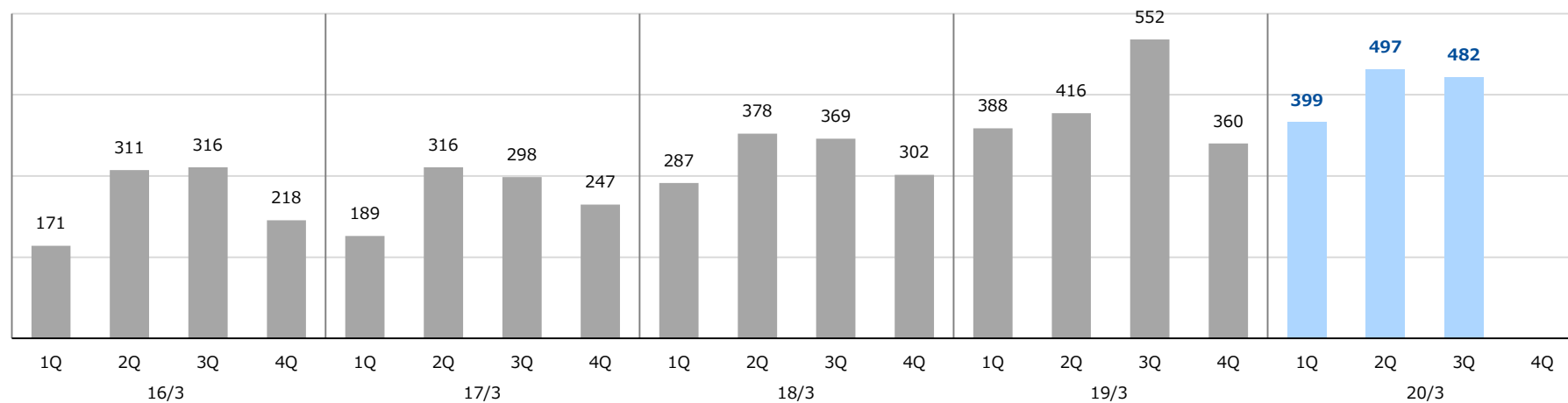


鉄構資材

売上高 (百万円)

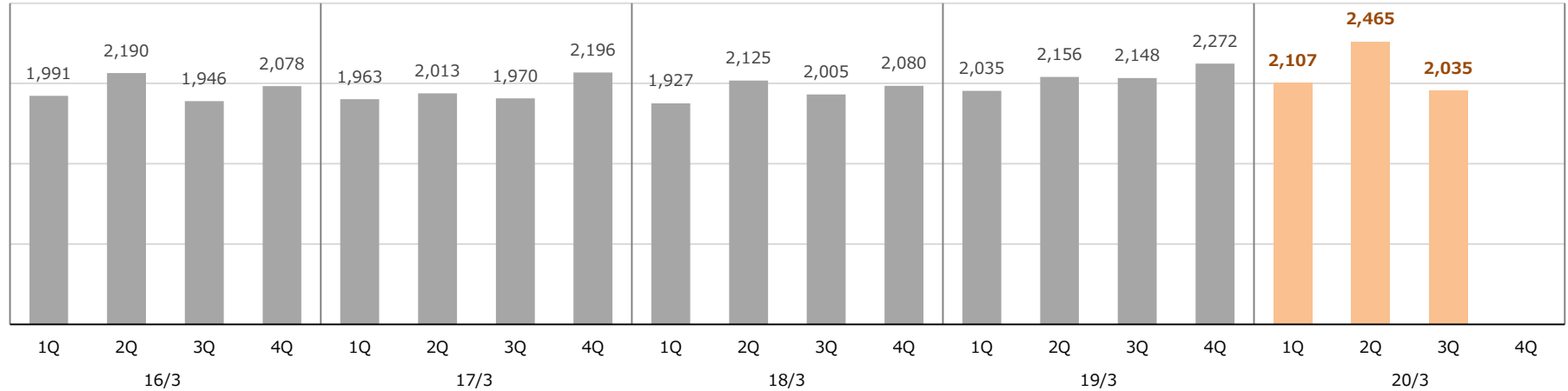


セグメント利益又は損失 (百万円)

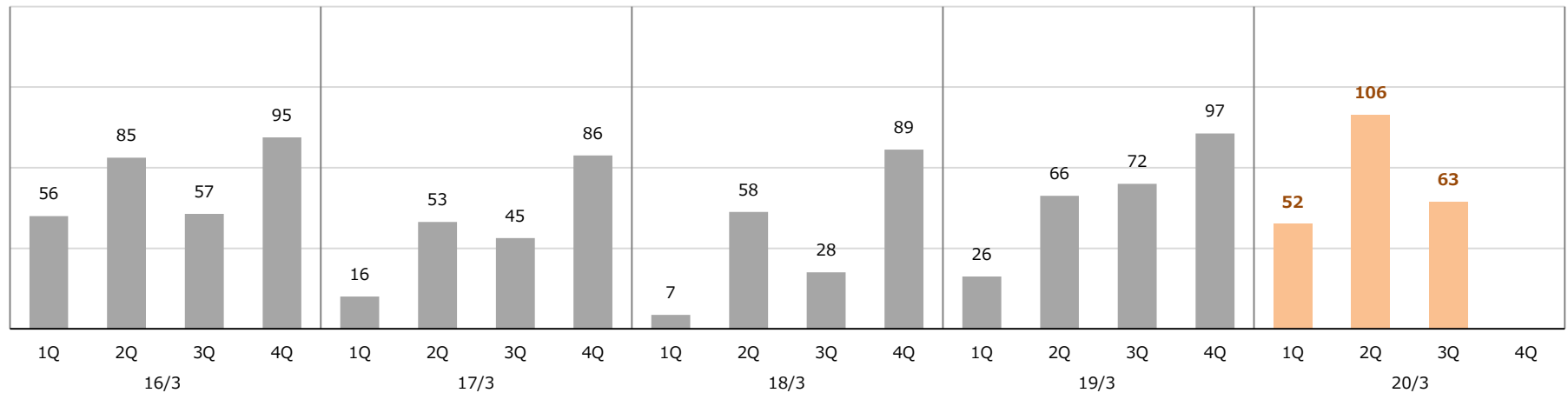


電設資材

売上高 (百万円)



セグメント利益又は損失 (百万円)







見通しに関する注意事項

本資料には、業績見通しおよび事業計画等を記載しております。

それらにつきましては各資料作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づいて作成しております。

したがって、実際の業績は様々な要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

 **コンドールテック株式会社**
KONDOTEC

〒550-0024

大阪市西区境川二丁目2番90号

TEL : 06(6582)8441(代表) FAX : 06(6582)8410

ホームページ : <https://www.kondotec.co.jp>

E-mail : kikaku@kondotec.co.jp (総務部)